

## 平成23年度 授業&行事スケジュール

	本科	専攻科	
4	5 火 入学式	入学式	
	6 水 始業式	始業式	
	28 木 閉寮	閉寮	
5	8 日 開寮	開寮	
	12 木 1年生合宿研修(～13日)		
	16 月 追認試験(射水)(～20日)		
6	8 水 前期中間試験(～14日)	平常授業	
	9 土 北陸地区高専大会(～10日)		
7	13 水 カッターレース大会	カッターレース大会	
	20 水 全体集会(本郷)		
	21 木 全体集会(射水)		
		閉寮(射水)	
		保護者懇談会(～25日)	
	22 木 閉寮(本郷)		
8	28 木	前期末試験開始	
	3 水	前期末試験終了	
	13 土 全国高専体育大会(～9月4日)	夏季休業	
	31 水 開寮	開寮	
9	1 木 前期授業再開		
	12 月 前期末試験(射水)(～20日)		
		前期末試験(本郷)(～21日)	
	21 水 商船学科卒業式(射水)	商船学科卒業式(射水)	
	22 木 授業開始	授業開始	
10	30 金 合同球技大会	臨時休業	
	11 火 4年生県外工場見学(～14日)		
	14 金 2年生県外研修(本郷・射水)(日帰り)		
		3学年県内工場見学(本郷)	
	15 土 プログラミングコンテスト(～16日)		
	30 日 東海北陸地区高専ロボットコンテスト2011		

### 編集後記

広報戦略室  
岡部 寛子

「高専通信」第2号を発行します。今回は、卒業式をはじめ、後期からの学生の活躍、活動の様子や学校の動きなどを中心に掲載しました。また、長年本校にご尽力いただいた退職の先生、職員の方々からのお言葉もいただいています。

両キャンパスの話題を載せる関係で、どうしても掲載記事が限られてしまうことが残念です。しかし、統合したとはいえ地理的に離れている関係で、まだまだ相互に理解しているとはいえない両キャンパスです。この広報紙を通して、それぞれのキャンパスの活動内容を知り、新鮮な驚きを感じたり、刺激を受けたりしていただけるのではないかと期待しています。

お忙しい中、急な原稿執筆に快くご協力いただきました教職員、学生の皆様に深く感謝いたします。また、記事を盛りこみすぎたため、文字が小さくなってしまいましたこと、せっかくお寄せいただきました原稿を縮めざるをえなかったことを深くお詫びします。最後に「高専通信」に対するご意見・ご要望がございましたら、広報戦略室までお寄せいただければ幸いです。

高専通信 No.2 平成23年3月31日発行

富山高専 広報戦略室

問い合わせ先：本郷キャンパス / 〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402  
射水キャンパス / 〒933-0293 富山県射水市海老江練合1-2 TEL 0766-86-5112  
<http://www.nc-toyama.ac.jp>



# 高専通信

富山高等専門学校 vol.2



卒業式

### contents

- 02 卒業式(射水キャンパス)
- 04 卒業式(本郷キャンパス)
- 06 卒業生表彰
- 07 卒業生・修了生の進路
- 08 就職・進学体験記
- 10 高専祭・統一球技大会
- 12 県外工場見学(4年生)
- 14 県内工場見学(本郷3年生)  
遠足(射水1・2年生)  
合宿研修(本郷2年生)  
スキー合宿(射水3年生)
- 16 学寮から・後期クラブ成績
- 18 ロボットコンテスト2010
- 20 地域人材開発本部
- 22 図書館情報センター
- 24 退職教員・職員挨拶
- 28 平成23年度 前期授業・行事日程  
編集後記

# 射水キャンパス 卒業式

## 卒業証書・修了証書授与式

平成23年3月10日(木) 富山高等専門学校射水キャンパスの卒業証書・修了証書授与式が射水キャンパス体育館で挙行されました。電子制御工学科44名、情報工学科37名、国際流通学科36名、制御情報システム工学専攻7名の124名がこの学舎を後に巣立っていきました。

送辞は学生会長 土池遙奈さん(国際流通学科4年) 答辞は山崎隆大君(電子制御工学科5年)が読みました。



## 卒業を迎えて

高専に入学し、はや五年の月日が流れました。卒業を迎える今、嬉しい反面、皆で過ごす日々が終わってしまうことに寂しさも感じます。入学当初、中学校とは違う授業や学校の雰囲気戸惑うばかりで、ここで五年間も過ごしていけるのが不安でした。しかし、同学年の友達、ユニークな先生方、そして部活動の先輩方と関わり、過ごしていく中で徐々に楽しくなり、あっという間に時間が経っていた気がします。

初めての行事、立山合宿での合唱コンクールでは、みんなでキューティーハニーを歌いました。なぜこの曲になったか覚えていませんが、皆が一つになった思い出の曲です。カッターレース大会や球技大会でも、仲間同士の支えあいや、応援でクラスが団結することが出来ました。学年があがると専

## 電子制御工学科 山崎 隆大

門教科が増え、内容が難しくなりました。五年生では、就職活動や編入試験への勉強が始まりました。クラス全体が不安に包まれる中、心の支えになったのはやはり仲間でした。互いに励ましあい、助け合ってここまで来ることができました。中でも一番の思い出は、クラスのみならず過ごした何気ない日々です。勉強を教えてもらった時、休み時間にふざけて笑いあった時など、今ではとても心に残っています。

私たちは、これまでの生活に別れを告げ、新しい生活を始めます。それは簡単なことではないと思いますが、高専で学んだことを生かし進んでいきたいと思っています。クラスの友達、部活動の先輩、先生方など、高専で出会った日とすべての人に感謝します。ありがとうございました。

## 専攻科修了を迎えて

専攻科での生活は多忙な2年間でしたが、充実した時間だったと感じます。その中の多くの経験が私たちに実力をつけてくれたと感じます。

専攻科では、特別研究のほかにPBLという実習があります。PBLはいままでの実習とは異なり、学生自身が課題を発見し、それを解決するまでの過程を考えます。これにより、自分で熟考して実行する力が身についたと実感します。また、発表の機会が多いことも良い経験になりました。学内だけでなく外部でも発表を行い、ときには英語での発表もしました。初めての英語での発表は、あまりの緊張に質問の受け答えができず恥ずかしい思いをしましたが、今後の課題を感じとらせ

## 制御情報システム工学専攻 田村 優人

てくれました。これらのことが私たちの自信となり、過去最悪と呼ばれる就職状況の中、5月中には希望者全員が内定を勝ち取りました。

しかし、その喜びもつかの間、次は学位授与試験へ向けての研究三昧の日々でした。中には徹夜でパソコンや実験装置とにらめっここの学生もいました。この1年は就職活動と研究で終わってしまったと言っても過言ではありません。専攻科の2年間は楽しかった思い出より、苦勞した思い出の方が多かったけれど、高専での7年間の経験を糧に春からの新たな人生に向き合っていきたいと思っています。

普段はあまり授業に集中していないと感じていた学生が部活動や学園祭になるとリーダーシップを発揮するといったことをたびたび目にしました。われわれ教員は学生を様々な視点から見なければ適切な評価はできないのだと深く感じた出来事でした。

今年度をもって富山高専を離れることとなりますが、本校で学んだこと、感じたことを糧に今後の教育および研究活動に動んでいきたいと考えています。

## 教えることの難しさを痛感した2年間

商船学科 一等航海士 三宅 一輝



練習船若潮丸の一等航海士として、日本海洋事業から出向で来て、はや二年が経ちます。もともとは1年半の予定でしたが半年延長で2年となりました。

こちらに来る前は、誰かに何かを教えるという立場ではなかったので、当初は手探りの状態でした。また、一等航海士としての職務に携わるのは初めてであり、まずそこからでした。学生への指導や、対外行事での一般の方への対応等慣れないことばかりでした。

実際に教育する側に立って感じたことは、何かを教え、それを理解してもらうということは非常に難しいということです。考え方、受け止め方は学生一人一人違うので、すべての学生が理解できるように教えるというのは一筋縄ではいきません。自分ではこれで理解してもらえらうと教えても、理解してもらえない場面が多々ありました。理解してもらうには、まず学生側の視点に立って考える必要があることを痛感しました。また、教育の現場は海であるため常に危険と隣り合わせで、安全確保に

努めなければなりません。例えば海が穏やかであっても、船から海中に転落するようなことがあれば死につながりかねません。荒れた海となるとなおさらです。そして、天候だけではなく、船の運航中は常に周囲にも気を配らないといけません。2年間、けがや事故がなくてほっとしています。

あっという間の二年間でしたが、たくさんのことを経験することができたと思います。最後に、学生の皆さん、学生時代の経験は社会人となったときにさまざまな形で大きく影響してくると思います。悔いのない学生生活を送って下さい。

## ●●その他の退職者●●

### 赤座 治郎

現職名：特命教授(産学連携コーディネーター)  
採用年月日：平成22年4月1日  
退職年月日：平成23年3月31日

### 高島 弘次

現職名：技術室 操機手  
採用年月日：平成12年4月1日  
退職年月日：平成23年3月31日

### 向田 博充

現職名：管理課 主任  
採用年月日：昭和44年4月1日  
退職年月日：平成23年3月31日



## ふりかえり

技術室 統括技術長 中村 敏郎



私が本校に勤務したのは、S44年に技術職員（機械系）の募集があり、その面接を受けたのがきっかけです。当時は高専の知名度もまだ低かったせい、面接日に場所の確認をするため、富山県地図を調べましたが、載っていないので非常にあせった記憶があります。また、地鉄バスも今日のようにキャンパス内に停留所が無く、2つ手前の停留所から歩かなければならず、雨風雪の日は通勤が大変でした。そのころはまだ、自家用車による通勤者は少なく、多くの方が公共交通機関を利用していただいたので、この通勤の時間は教職員や学生とのコミュニケーションの場となり、楽しい時間でもありました。当初は、このような環境の中で機械工学科担当の技術職員として、主に精密測定実験と応用物理実験の支援を行っていました。しかし、工業高専としての完成年直後であるため、新たな教員配置や技術職員の削減により、安定期になるまで様々な実験や実習支援へと推移してゆきましたが、そのつど教員方からの厚いご指導に助けられて支援業務をおこなうことができました。また、今日のような電算センター施設が無かったときには、現在のPCよりはるかに劣性能のミニコンを交替で技術職員が管理し、その訓練のために全員で（株）インテックの社員研修に1週間参加した楽しくつらい思い出もありました。

このようにふりかえってみれば、幅広い専門技術を学ばせていただきましたが、この知識や技術が微力ではありますが、少しでも学校のために役立ったのであれば幸いです。新高専となった今、これからの技術職員は更に支援内容が広がっていくであろうと思います。これについては、これまでの技術室の力に期待するとともに、皆様には技術室運営にたいすご理解をいただきたく、宜しくお願いいたします。最後に、教職員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。

## ●●射水キャンパス●●

### 海に戻るにあたって

商船学科 准教授 奥 知樹



妻と共に恩師稲垣先生の墓前で母校に戻った報告をしてから早くも2年の月日が経とうとしています。日本丸を下船してすぐ、ハワイのHOKULE'Aのクルートレーニング航海に参加、帰国後バタバタと引っ越して、母校の門を27年ぶりにくぐりました。それから瞬く間の2年ではありましたが「印象に残っ

ていること”を挙げるとすれば、それは間違いなく商船3年（現4年）の担任をさせて貰ったことでしょう。

赴任直後に見た我がクラスは、人の話はほとんど聴かないテレビで見たことのある崩壊学級のようなものでした。その後商船4年に持ち上がり、今日までの数々の出来事はとてもこの紙面で紹介できる量ではありません。人生初めて味わった“職場に行きたくない病”、度重なる学生主事からの呼び出し、数えきれないほどの掃除指導、生活・進路指導、カッターレースでの決勝レース、スキー合宿、ハワイ国際インターンシップの引率、そして佐渡帆走航海…。どれもこれも我がクラスに繋がります。20年近い海上生活で海に教えられたこと一逃がす諦めずに根気よく向き合うことの大切さとその大変さ、永遠に続く時化はない—ということをおぼろげに思い出させられた気がします。そして間違いなく彼らからも沢山のことを学ばせて貰ったと心から思っています。退職までの残務処理で疲れている中、我がクラスの存在自体がほっとする癒しだというのはおかしな気分です。戦友である前担任の横田先生に感謝すると共に、学生諸君には就職の面倒を最後まで見ずに学校を離れなければならないことが申し訳なく、進路が決まった時の喜びを分かち合えないのが残念ですが一足先に海で待っています。

愛する我がクラスと、全ての商船学科学生諸君、近いうちどこかの海で会いましょう。この2年間を側で支えてくれた妻と一緒に、赴任した時と同じくそっと見守ってくれたであろう恩師の墓前にお礼と報告をして、あのクラスの担任だったことを誇りに静かに本校を去ろうと思います。

“スマートで目先が利いて几帳面、負けじ魂これぞ船乗り”

“Never turn your back to the ocean”

## 様々な視点で学生を見る

国際ビジネス学科 講師 内田 秀昭



本校に着任してから3年になりますが、その間にたくさんの思い出が出来ました。最初の年はこれまで住んだことのない土地や新たな職場という環境に慣れるだけでも戸惑うことがありました。私自身が高専で学生生活を送ったことがなかったため、高専における教員の役割について十分に理解できておらず、実際に仕事をしながら身につけなければならないという状況でした。しかし、2年目、3年目と進むうちに徐々に仕事にも慣れ、高専の教員だからこうしなければならないということも意識なくなり、自然体で職務に当たることができるようになりました。

特に印象深いのは、高専では部活動や行事など授業以外でも学生と接することが多く、そういうときに学生の別の一面が見えるのだということに気付いたことです。

# Graduation Ceremony 2011.3.10

## 卒業おめでとう 担任からのメッセージ

### 今ここにいる自分

電子情報工学科 早勢 欣和



ご卒業おめでとうございます。みなさんは、これから広がる未来へのスタートラインに立っています。これまでの学生生活でも、常に明日に向けての分岐点に立っていたわけですが、これからは誰かからの後押しを待つことは期待できず、その第一歩を自らの意志で踏み出すことが多くなります。自由意志で選ぶ道には責任が伴いますが、勇気を持って進んでください。たとえ、そこに道がなくても自分が歩いた後ろに道ができます。これからの歩みの時間では、とても難しい課題ですが、自分らしく生きていって欲しいと望みます。その形は人それぞれであり、常にそれを追い求めることになるかもしれませんが。このためには甘えや逃げで誤魔化すことなく、自分の本当の気持ちに、素直にきちんと向き合うことが大切です。

さて、これからも多くの人と出会い、多くの人とのつながりが出来ることでしょう。人には、それぞれ考え、生き方があり、社会は実に様々な人がいて成り立っています。自分を大切にしつつ、周りの人のことも理解するようにしてください。特にこれからは、国際的なつながりも増えていくことが予想されます。言葉の違いはもちろんです、文化の違いなど、実に千差万別で多種多様です。物事を特定の視点だけで見るとはならず、様々な角度から見て考えて欲しいと思います。社会は個人が集団となって形成されていて、るつぽのような場合もあると思いますが、各素材の品質とバランスが重要なサラダボールのように、一人一人の個性が引き立てられることが望ましいと思います。改めて、自分のいる場所を見極めて、自分の足でしっかりと立ってください。主体的に自分の頭で考えて、そして自分で行動していける人になってください。

### 一期一会

情報工学科 秋口 俊輔



私が本校に着任したのは、皆さんが2年生の時。初めて受け持った講義は皆さんのクラスでした。初めての職場で、初めての講義をした皆さんを、初担任として受け持つことはもはや運命だったのでしょうか。

2年前を振り返ると、制服から私服に替わり外見的には年相応の若者なのに、まだ

どこか幼さの抜けない皆さんが思い出されます。そんな皆さんが、インターンシップ、工場見学、就職活動など様々な事を経験することで、徐々に自分の将来に対するビジョンを確立し前進していく姿は、まさにサナギが蝶へと変わる姿を見ているように感じました。

これから羽ばたく皆さんに1つだけ「一期一会」という言葉を贈ります。勉学で苦しんだ、就職活動が辛かった、そんな経験をしたことと思います。しかし、ここで考えてもらいたいのは、成し遂げるチャンスは常に存在していたということです。成し遂げられたかどうかは別に、勉学にしても就職にしても皆さんには平等にチャンスが与えられたと思います。今、皆さんが未来に向かって歩き出せるのも、チャンスを逃さず努力を怠らなかつた結果です。これから先も困難に立ち向かわねばならない状況は必ず訪れます。しかし、それを乗り越えるチャンスも必ず訪れるはず。チャンスは何度も訪れてはくれませんが、今あるチャンスとの出会いを一期一会と思い、困難に立ち向かって下さい。

最後に、皆さんの門出を一番喜んでおられるのは、これまで大切に育ててくれたご家族です。感謝の気持ちをいつまでも忘れず、困難に立ち向かって行く姿を見せることで恩返しをして下さい。卒業生のみならず、本当におめでとうございます。

### ご卒業を祝して

国際流通学科 松原 義弘



ご卒業おめでとうございます。この良き日を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

2年前の学級日誌を振り返るとこんなことが書かれています。「今日から4年生が始まり、改めて時間が経つのが速いと感じました。これからよろしくお祈りします」「4年生になって3日目。そろそろ着ている服のバリエーションがなくなってきました。3年生と違って大変なんですね」「海王丸のマスト登りました！海面から高さ15m。怖かったけど、景色がすくなくきれいでした！」そして1年前。「5年生になり、忙しい毎日が始まりました。学生最後の年を悔いの残らないようにやりたいです」「今、就職組が説明会や選考会に行っていてなんだか寂しい」最近の日誌では「明日は推薦入試だそうですね。私も5年前のように推薦を受けたことを思い出しました。あっという間だ」と思いました。「今日が皆で受ける最後の授業でした。皆と別れる日がだんだん近づ

いてきて寂しいです」

日々が充実していたからこそ、あっという間に感じられたのだと思います。クラスの旗やそろいのTシャツで臨んだカッターレース大会や球技大会、カフェを大成功させた北斗祭など、仲間との思い出がぎっしり詰まった5年間でした。

それにしても11期生は、協力的で温かなクラスでした。頑張り学生が多く、通関士合格、ビジネス能力検定1級合格、TOEICで900点以上取得など、それぞれ得意な分野で努力を結実させた人がいました。厳しい就職状況の中、世界的に活動を展開する企業や銀行、公務員など希望者全員が内定を取り、進学も全員が進路を決めました。皆さんならこれから進む道で、周囲の人々と協調しながら十分力を発揮していけると信じています。

皆さんがこのキャンパスから巣立つことは喜ばしく誇らしいと思ひ、同時にかなり寂しくも思ひます。皆さんがますます元気で活躍されることを心から祈っています。

### 専攻科修了を祝して

射水キャンパス副専攻科長 篠川 敏行



専攻科修了おめでとうございます。皆さんは本科と専攻科、合わせて7年間学びました。専攻科生としての学生生活は、本科の5年間に比べて濃縮期間でいろいろな思い出ができたのではないのでしょうか。

これから皆さんは富山高専から巣立ち、一般社会または大学院へと進みます。外の世界は高専ほど守られた世界ではありません。自身の力で切り開いていく世界です。何をやるにしても答えは一つではなく、いくつもの答えと思われるものが存在している世界です。その時点での最良を選ぶか、または将来への期待を込めて選ぶかを日々決断していくことになります。将来への期待を込める場合は自分自身の成長も見込まなければならないでしょう。失われた10年または失われた20年といわれ、日本はまだ景気低迷が続いています。皆さんは就職環境も非常に悪く、社会に出て行くこととなります。社会では、多くの困難が待ち受けていることと思います。しかし、その中で次のステップのために常に準備を怠らず、自身を鍛えてください。皆さんがさらに大きく成長されることを心から願っています。

皆さんの新たな旅立ちに幸あらんことを願います。

# 本郷キャンパス 卒業式

## 卒業証書・修了証書授与式

平成23年3月18日(金) 富山高等専門学校本郷キャンパスの卒業証書・修了証書授与式が本郷キャンパス体育館で挙行されました。機械工学科35名、電気工学科37名、物質工学科39名、環境材料工学科35名、機械・電気システム工学専攻19名、機能材料工学専攻12名の計177名がこの学舎を後に巣立っていきました。送辞は伊東篤志君(環境材料工学科4年) 答辞は福村将彦(機械工学科) 岩城伸明(機械・電気システム工学専攻)が読みました。



## お世話になりました

Today marks three years since I joined Toyama National College of Technology and to me time went so fast. Before joining this college, I always worried whether I'll be able to; get used to school life, understand lessons conducted in Japanese, make friends and so on. But fortunately, I got used to school life in a few days, made many friends and I was also able to understand most of the lessons. Teachers and friends taught me Japanese culture and that helped me manage to live smoothly alongside the Japanese people. I thank you all for the kindness and all the help that has enabled me graduate from this level and advance to another. I'll always be proud of the fact that I graduated from Toyama National College of Technology and I even hope to work harder at University.

## 機械工学科 アンドリュウ カリヤンゴ

(訳)

母国ウガンダを離れ、富山高専に編入して、早くも3年が経ちました。この間とても短かったと感じています。編入学前は高専での生活に慣れることができるか、日本語での授業を理解できるか、また、友達を作ることができるかなどの心配をしていました。しかし、編入学して数日で慣れることができ、自分自身大変驚いたことが印象に残っています。友達も数え切れない程たくさんでき、現在では難解な専門用語を含む大部分の授業も理解できるようになりました。先生や友人から日本の文化を教えられ、日本社会の中でもスムーズに生活できるようになりました。今後、富山高専を卒業したという誇りを持って大学でも頑張りたいと思います。お世話になりました。

## 専攻科修了を迎えて

私にとって本科専攻科の7年間は短い時間でしたが、充実した学生生活を送ることができました。本科では各々の専門科目の基礎から応用を学び、学力だけではなく技術力も向上させることができました。専攻科では複眼的な視野を持った幅広い分野の知識を有する技術者を目指すべく、多くの分野を学ぶことができました。授業の中には十分に満足できなかったものもありましたが、技術者としての心構えや企業に入社してすぐに役立つことも多く学びました。特別研究では卒業

## 制御情報システム工学専攻 岩城 伸明

員の方々からの確かなご教授を受けました。指導の先生からは普段はやさしく、時には厳しくメリハリのある指導をしてもらい、専門的な技能だけではなく社会のマナーも数多く教えてもらいました。他学科の先生や技術職員の方々にはご多忙の中、時間を割いて協力してもらうことが度々ありました。これら特別研究で過ごした時間と人との交流は、私にとってかけがえのない経験となりました。

専攻科に入ってから大学院進学のため英語の勉強量が増えました。授業では語彙力の向上や文法の復習を行い、学校で開催された講習会に積極的に参加しました。自宅ではNHKのラジオ英語講座で耳を慣らし、英語能力の自己啓発のためにTOEICやTOEFLにも挑戦しました。外国人との交流会や国際学会のスタッフとして働いた際には身につけた英語力を発揮して話を理解したり会話をしたりしました。

春からは親元を離れて生活するので多少の不安はありますが、専攻科で学んだ事を糧に、大学院でより専門的なことを学び、国際的に活躍できるエンジニアを目指したいと思います。



げました。指導を進める中で分割した導電膜の特性をうまく表す近似式が完成し、従来のメカニズムと少し違った形で吸収が起きることがわかってきました。やがてFDTD法と呼ばれるマクスウェル方程式の数値解法によりこの問題を解析する卒研生が登場し大いに刺激を受けたものでした。専門書を読む卒研ゼミを一緒に担当した若い先生から、会社において疎くなっていった物理学の新しい情報を、ゼミ指導の過程で教えてもらえるのも楽しみでした。この先生の話や電子回路の授業準備で気になった事をもとに非線形発振回路を卒研テーマに取り上げたりしました。

高専での教育研究活動は学生生活指導とともにとってもやりがいを感じる仕事でした。こういう学校で一緒に勉強し、仕事をしてきた皆様に深く感謝します。しかし一方で、この数年来の「改革の大波」の意味をよく理解できないまま対応に右往左往し、日々の教育研究活動の意味を丁寧に考えなくなってしまっていた自分に気づき、恥ずかしい思いも感じています。

## 時は流れて 時と知り

一般教養科 教授 秋元 誠



私が富山工業高等専門学校に着任したのは昭和63年4月、翌年から「平成」に年号が改まります。だから私の「高専時代」は23年間。それ以前は県立高校に17年間勤務していたので、教員としては通算40年を過ごしたことになります。終わってみれば短かったようでもあり、特別な感慨もあるような、ないような…。今は、ただ「時は流れて 時と知り」(阿久悠さんの詞の一節)の思いです。

教員としてのやり甲斐を一番感じたのは、やはり学級担任をしていたときでした。ハラハラ・ドキドキすることもしばしばあったけれど、そんな学生たちが教師としての力量を私に育ててくれたのだと、今しみじみ思います。最近10年ほどは担任から外れてしまいましたが…。

着任したときハンドボール部の顧問を仰せつかりました。まったくの門外漢で、今もその状態は相変わらずですが、部員たちは、しばしば、私を全国大会に連れて行ってくれました。夢だった全国制覇はなしとげられなかったけれど…(「夢は砕けて 夢と知り」阿久悠さん)

寮務主事・学生主事であったときも多くの人たち(もちろん寮生・学生たちも)が私を支えてくれました。寮務主事1年目、当時の4年寮生が中心になって寮の改革をなし遂げてくれたこと。その秋、寮生が志峰祭でみごとなミュージカルを演じたこと。学生主事の1年目、本校主管の東海北陸地区ロボコンで久しぶりの全国大会出場を果たした事。全国大会ではデザイン賞を獲得してくれたこと。…いい思い出は数々あります。

さて、二つの高等専門学校が一つになって新生「富山

高等専門学校」に進化しました。新たな試みは着々と進行しているようですが、その土台となるべきよき伝統はあくまで保持されるべきでしょう。異なるものがぶつかり合って新たなパワーを産み出すこともあるはず。

キャッチフレーズ「夢見る力を、つくる力へ。」を学生諸君が体現してくれることを切に願っています。

## 思い出ありがとう

一般教養科 准教授 大野 崇



最初に任されたクラブはワンゲル部でした。前、後期間の休みを利用して、後立山、穂高連山などの縦走を3泊4日程度のスケジュールでテントを担いで行っていました。新任教員の私には結構辛い山行きでしたが、指導するものとされる者との立場をわきまえた部員相互の態度や行動に学ぶことがたくさんあり、その後の教員生活にも大いに影響を与えました。最後の山行きは槍ヶ岳でした。みぞれまじりの天候で、凍りついた岩場の登はんは今思い出してもぞっとします。でも山頂で飲んだ温かくて甘い紅茶の味は今も忘れられません。

次はラグビー部。「最高の、そして紳士のスポーツ」はラグビーだと、授業のなかでで言っていたのが影響してか、陸上、サッカー、野球などに所属していた4、5年生に「ラグビー部を立ち上げるから、是非、顧問になってくれ」とせがまれ、たいした経験もないのに引き受けてしまいました。最初の3年間は全試合敗戦。15人のメンバーも満足に揃わないこともあり、学生たちも投げ出してしまいそうでした。しかし、まず首を鍛え、単なるスキルの向上だけでなく「5年間で自分のポジションの職人になる」という合い言葉のもと、少しずつでしたがなんとか試合になりました。最初に全国大会への出場を決めた決勝の相手は宿敵、富山商船。そのとき応援に来た先輩がポツリ、「先生、今でもあの商船のチャージは怖い」と言ったのが忘れられません。3回も出場した全国大会でしたが一勝も上げることができませんでした。しかしあの神戸のユニバーシアード競技場に映し出された「富山高専」の大きな文字は今でもくっきりと脳裏に焼きついています。

最後に引き受けたソフトテニス部は、少人数ながら男女の部員が仲良く練習している姿は好ましく感じました。スポーツを通じて多くの若者と時間をともにできたことは私にとって生涯の大切な糧であります。

高専での生活が単なる知識の受け渡しではなく、互いを高めあう場であることを願っています。

## 卒業おめでとう 担任からのメッセージ

### 卒業にむけて



機械工学科 佐瀬 直樹

卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。5年生の担任を務めると、我が子だけでなくよ様の子どもでも育てる喜びを味わえる幸せな仕事だとつくづく感じます。

皆が巣立っていく社会を取り巻く環境は厳しいものです。これまで日本を支えてきた製造業も苦しい戦いを強いられます。経済的豊かさだけが幸福ではありませんが、どこまでの後退を良しとするか、日本はどの方向に進むべきか、我々個人はどう生きるべきかを今考えなければなりません。つまり何が幸せか、その実現のためにどう振る舞い、何を身につけるべきかを考えることです。また自分自身のためだけでなく周りの人をも幸せにし、日本のため世界のために貢献できることを考えてください。

ただし目標が壮大すぎると、行動に移すことが難しくなります。また今の実力ですぐ社会貢献できるほど世の中は甘くありません。目標実現のため、できることすべしことを明確にすることです。それはおそらく個々がそれぞれの分野で世界と戦える技術、能力を地道に高めることです。いつかその力を発揮するものために発揮してください。就職した人も進学した人も、これまで経験したことのないことに率先して挑戦することで、自分自身を成長させていってください。本校の卒業生なら、専門分野において決して大学生に引けをとりません。また社会の一員として、快適な社会の形成、世界とのつながりを常に念頭に置き、行動することを心がけてください。

皆さんが、挑戦する気概とたゆまぬ努力を続ける忍耐力を武器に、社会のため、日本のために活躍する日を楽しみにしております。

### 自信と謙虚さを合わせ持って



電気工学科 角 俊雄

卒業おめでとうございます。晴れがましいワクワクした気持ちで卒業を迎えておられることでしょう。

さて、私のようなまわりの教員にとって4、5年生の担任は負担が大きく、一番避けたい仕事に感じていました。しかし4年生の担任になってしばらくすると、何とか一人ひとりの顔と名前が一致するようになり、それまで見えなかった個々の特徴や個性が見えてきました。しようもないヤツ

だなあと漠然と思っていた人の推薦書を書くために彼に注目していくと、とても良い所や優れた所に気が付きます。推薦書を書く必要もなく進路を決めた学生もいますが、彼らも含め一人ひとりの学生に、良い所を大事にのびして欲しいというメッセージを込めて推薦内容を準備しました。それはとても楽しい仕事でした。

皆さんはこの5年間で技術者に必要な多くの知識を身につけました。そのことに少なからず自信を持っていることでしょう。この学校では公式を覚えて機械的に数値を当てはめればよいという勉強は求めませんでした。重要な公式は導かれる過程を勉強し、適用できる範囲に限界があることも学びました。知識には限界があることを承知してこそ、実際の問題に自信を持って適用できるのです。

科学技術の成果の上に営まれてきた経済活動が地球環境を破壊し、人類を危機に陥れる時代に私たちは直面しています。異分野の人や深刻な危機にさらされている少数の声に耳を傾ける謙虚さと、経済活動の横暴に技術者として物申す自信と勇気が必要です。どうか高等専門学校を卒業したことに自信と誇りを持ち、また謙虚さを忘れず未来に向けて進んでください。

### ゴールドラッシュ



物質工学科 河合 孝恵

地球上には未だ多くの金が眠っています。この金は一日中探しても全く見つからないこともあれば、運良く大きなナゲット(金塊)を手にすることもありま

す。皆さんは、富山高専という金鉱山でどれだけ金(専門知識・経験・友人・思い出)を手に入れることができたでしょうか。

入学当初は道具の使い方も金の眠る場所も分からなかった人も、悩み苦しみがら、先生や友人に支えられ、地道に努力し、多くの金を手に入れ、今新たな金脈探しの旅に出ようとしています。金は重く、錆びず、影ながら人々の生活を支え、希少価値が高く、いつまでも輝き続けます。また前途ある若者同様、鍛えられてのびる性質も持っています。

ゴールドラッシュが終わった(科学技術の発達した)現在、多くの鉱山(分野)は掘り尽くされ、ナゲットは枯渇し砂金しか残されていません。人と同じ場所・方法・道具・知識・考え方で探しても、発見できません。高専で身につけた知識・技術に、さらに鍛練・勉強を重ね、新しい情報・知識を吸収し、日々努力を重ねることにより、

ようやく真の実力が身につきます。真の実力を持つ者のみが新たな金鉱脈を発見し、再びゴールドラッシュを引き起こすことができます。日々の努力を怠れば、本物の金と雲母や黄鉄鉱などの偽物を見分けることもできず、メッキの金の延べ棒をつかまされることとなります。地球上にはまだまだ未発見の金鉱山が眠っています。高専で手に入れた、他では得られない道具・お宝を手し、社会という新たな大地ですばらしい宝探しの旅を続け、新しいゴールドラッシュを巻き起こしてください。

### 卒業を祝して



環境材料工学科 高廣 政彦

卒業おめでとうございます。進路もほぼ決定し、諸君も落ち着いた事と思います。

今年度の就職戦線は過去にないほど厳しいものになり、従来の手法が通用しない年になりました。企業も物理的人材補充から優秀な人材発掘に方針転換し、大多数の企業は、求める基準を満たす学生がいないうち、予定人数に達しなくても打ち切る傾向が一層強まりました。特に県外の比較的規模の大きな企業に就職を希望する場合は注意が必要です。一方進学は、早くから就職難の噂が伝えられ、各大学とも倍率が増加し、昨年度より難化した感を受けました。これらの傾向は今後もしばらく続くと考えられますので、就職、進学に関わらず、早くから準備を進める必要があります。特に就職試験ではSPI(一般常識)、大学編入では英語および数学の基礎力を高めることが重要です。

最後に、卒業する学生諸君の中には一人暮らしを始める人も多数いると思いますが、健康に十分注意を払い、不摂生な生活は厳に謹んでください。また、身体面のみならず精神面も含めて体調に異変を感じたら、早急に医療機関を受診してください。一方、就職する皆さんは、辛いことも必ず経験します。転職を考えることがあるかもしれませんが、概して「隣の芝生は青く見える」ものです。安易に転職等を考えずに、最低5年は辛抱する忍耐力を身につけてほしいと思います。

### 修了を祝して



副専攻科長 西 敏行

専攻科2年生の皆さん、修了おめでとうございます。今年度の夏は近年にない猛暑となり、冬は一転大雪で、厳し

## 退職 教職員紹介



### ●● 本郷キャンパス ●●

#### 退職を迎えて

機械システム工学科 教授 磯邊 邦夫



24年間勤めた会社を退職し、平成8年に富山高専に来て、15年が経ちました。会社時代にケンブリッジ大学に学生として2年間留学しておりました。今年の夏にイギリスに行き、当時の友人と30年振りに会いました。彼は開口一番、「日本はダメになったね。」と言いました。確かに日本の政治、経済、教育等、昔に比べると大きな問題を抱えています。

本校着任以来、学生のやる気を起こさせ、考える能力を身に付けさせようとして取り組んできました。そのやり方は「定義を覚えること」、「問題を考える時に、常に定義に戻って考えを始めること」、「基本公式のみ覚えること」等、授業を通して教えて来ましたが、考え

違いをしていたり、大事なことが頭に入っていなかったり等を指摘し、方針を与えて自分で考えるように指導して来ましたが、

最近の学生は、周りを見て皆がやっているようにすれば良いんだと思っています。しかし、各自の将来は皆違うので、自分の将来は最終的には自分で決める必要があります。その目標に向かって、やればできるのです。やる気を出してコツコツ努力すれば何でもできるようになるのです。自分で目標を決め、それに向けて頑張ってください。これからの日本を作る、建て直すのは今の若者達です。最後に、平櫛田中の言葉を送ります。「いまやらねば いつできる わしがやらねば たれがやる」

#### 伝えておきたいこと

物質化学工学科(環境材料工学科) 教授 桑原 道夫



本校では20年、そして富山大学・工学部での19年、長かった教員生活を終えることになりました。この間、多くの先輩・同僚、そして学生諸君にも恵まれ、無事に退職の日を迎えることが出

来しました。

退職にあたって、学生諸君に伝えておきたいことがあります。努力を続ければ必ず結果が出せるということです。本校に転職した翌1992年、自動車部を動員して、ソーラーカーを製作しました。ラリー出場が目的でした。92、93年を中心に、鈴鹿サーキット、石川・千里浜、秋田・大瀧村や名古屋、神戸などのラリーに参加しました。ソーラーカーはまだ余り知られていない頃の話です。教職員も学生も、誰も、どんな形や構造か、よく分からないまま製作をスタートさせました。ラリーの期日は決まっています。移動の時間も必要です。出発前に不具合が見つかったら、徹夜で手直したこともあります。教職員も学生も必死でした。ラリーがスタートした後で、コース上でのトラブルでは、ドライバーが対応しなければなりません。可能な限り、単純な構造で作り上げることが求められます。

ラリー参加の経験を重ねることで、スキルは確実に向上します。当然のことですが、参加メンバーには、大きな努力が求められます。ドライバーとしても、メカニックとしても、さらに、ラリー・マネージャーとしても努力が必要です。また、チームメンバー間の協力・協調も重要です。トラブルで完走できなかったラリーもありましたが、次の機会までにトラブルを乗り越えるよう、努力を続けて行きました。

責任を持って自分の分担をやり遂げ、参加メンバー間で協力し合うことは、ものづくりにもつながっています。学習も同じです。少しでも努力を積み重ね、大きな成果を出してください。期待しています。

#### 富山高専に14年間勤務して

電子制御システム工学科 教授 角 俊雄



私は平成9年4月に本校に赴任し3月に定年を迎えます。14年は決して長い年月ではありませんが、私の人生にとっては非常に重みのある期間でした。

私は物理学科の出身ですので、技術の分野で使われる無数の様々な公式は、自然法則とそこから得られる少数の重要な法則を使って必ず論理的に導かれるという立場に立っています。仮定や近似を行うことも多いですが、それは公式の意味や使用の限界を教えてください。無数の公式を覚えるよりも少数の重要な法則を使って必要なことを導く方がずっとやさしく感じられ、導いた結果も心に残ります。このことを授業を通して学生に伝えたいというのが14年間を通しての一つの思いでした。振り返ると、約1/4の学生は私の授業を受けなくてもこのことを理解していたでしょう。本当に伝えたいはずの残りの学生にどの程度伝わったのかが大事ですが、正直なところ自信が持てません。

卒業研究では電波吸収窓ガラスをテーマによく取り上

い寒さとなりました。学生の就職内定率もかつてないほど低く、氷河期以上とも言われています。このような中、無事、就職、進学を決定し、修了式を迎えられたことは誠に喜ばしいことです。

本科卒業後の2年間はあっという間に過ぎたことでしょう。特別研究や学会発表など本科生の時にはできなかった貴重な体験をすることができました。また、ティーチングアシスタントとして本科生の実験指導や卒研指導など、人に教えることの大切さ大変さがよく解ったことと思います。楽しいことばかりではなく、辛いこともあったでしょう。時には、こんなはずではなかったと思うこともあったかもしれませんが、しかし、それらを乗り越えて修了までこぎ着

けたことは、これからの人生で大きな財産となり、生きる力となることでしょう。これからも大学院や職場で、指導的立場になることが必ずあります。その時に、ここでの経験が必ず役立つことでしょう。

皆さんの人生には、この先何が待っているかわかりません。楽しいことばかりではないけれど、苦しいことばかりでもないでしょう。何が待ち受けていても、それに果敢に立ち向かい乗り越えて行って下さい。専攻科を修了した皆さんなら必ずできます。目先のことで一喜一憂するのではなく、長い目で見て日々過ごして下さい。皆さんの前途が希望に満ち溢れたものであることを心よりお祈り申し上げます。



## 卒業生表彰

### 本郷キャンパス

#### 優良賞（4名個別に授与）

清水 一憲（機械工学科）  
 山川 真司（電気工学科）  
 中室 貴幸（物質工学科）  
 榎谷 峰且（環境材料工学科）

#### 特別賞

##### クラブ活動功労賞

高木 駿平（機械工学科・水泳）  
 家城みづき（物質工学科・柔道）  
 岡本 香奈（物質工学科・弓道）  
 山崎 一樹（物質工学科・柔道）  
 山下 奈穂（物質工学科・バドミントン）  
 恒田 柁暉（環境材料工学科・柔道）  
 堀田 拓摩（環境材料工学科・柔道）

##### 学生会活動功労賞

蒲地 貴也（機械工学科）  
 児嶋 翔太（機械工学科）  
 二上 文裕（電気工学科）

##### 寮生会活動功労賞

河口 一麻（機械工学科）  
 北宮 克哉（機械工学科）  
 山川 真司（電気工学科）  
 小西 菜穂（物質工学科）  
 篠原 大志（環境材料工学科）



### 射水キャンパス

#### 学業優秀賞

山崎 隆大（電子制御工学科）  
 岩瀬 大吾（情報工学科）  
 福地 稔（国際流通学科）  
 赤川龍之介（専攻科制御情報システム工学専攻）

#### 日本機械学会富山賞

近藤 貴大（電子制御工学科）  
 電子情報通信学会北陸支部学生優秀論文発表賞  
 岩瀬 大吾（情報工学科）  
 新田 真浩（専攻科制御情報システム工学専攻）

#### 電子情報通信学会北陸支部優秀学生賞

赤川龍之介（専攻科制御情報システム工学専攻）

#### 情報処理学会学会北陸支部優秀学生賞

青山 健人（情報工学科）

#### 映像情報メディア学会北陸支部優秀学生賞

岩瀬 大吾（情報工学科）

#### 北東アジア学会学生奨励賞

長尾 彩加（国際流通学科）

#### 秘書サービス接遇教育学会学生奨励賞

笹岡 由希（国際流通学科）

#### オーストラリアサンシャインコースト大学学生奨励賞

山岡 詩織（国際流通学科）

#### 中国東北財経大学国際漢語文化学院優秀学生賞

棚辺絵梨香（国際流通学科）

#### 韓国延世大学校言語教育院韓国語学堂 韓国語能力優秀賞

澤崎 智郁（国際流通学科）

#### ロシアネヴェルスコイ海洋大学学生奨励賞

八田 宗太（国際流通学科）

#### スポーツ賞

杉本 和也（電子制御工学科 陸上）

#### 特別賞

千葉祐太郎（情報工学科 学生会長）  
 八田 宗太（国際流通学科 学寮会長）  
 堀田香緒里（電子制御工学科 女子学寮会長）

## 情報センター案内

### マイクロソフト包括契約に基づくソフトウェア利用について

国立高等専門学校機構とマイクロソフト社が締結した包括的協力協定に基づいて、本校では生活共同組合を通じてマイクロソフト社のソフトウェア（OS・Office）を販売しています。購入に際しての注意点やよくある質問をQ&A方式で紹介いたします。

#### Q1. OfficeEnterprise2007で使用できるOffice製品は何ですか？（Enterpriseとは何ですか？）

A1. ほぼ全てのOffice2007ファミリー製品を使用できます。店頭で「Ultimate」として販売されるバージョンと同等です。（Enterpriseは企業・法人向けの名称です）

#### Q2. 現在Windows2000（またはWindowsXP）を使用しています。Windows7Ultimateにアップグレード出来ますか？

A2. アップグレードできます。ただし、新規インストール作業を行う必要があります。既存のデータは消えてしまうので、事前にバックアップを行ってください。またWindows7インストール後はWindows2000を使用することは出来ません。下記の表を参考にしてください。

##### 新規インストールが必要となるパターン

- ・ 32bitから64bitへのアップグレード（その逆）
- ・ WindowsXP以前のOSからWindowsVista/7へのアップグレード
- ・ 下位へのダウングレード（UltimateからHomeへ）
- ・ apple Macintoshからのアップグレード

##### 新規インストールが必要となるパターン

Windows98、NT4.0、2000、XP  
 WindowsVista、Windows7、Apple Macintosh

##### アップグレード対象外

Linux、FreeBSD、Solaris等のUnix系OS

#### Q3. Office2007で作成したファイルを開けません。（拡張子がdocx、xlsx、pptx等）どのバージョンのOfficeで開けるようになりますか？

A3. Office2007またはOffice2010で開けます。またOffice2003でもマイクロソフトのダウンロードセンターより「Word/Excel/PowerPoint用Microsoft Office互換機能パック」をインストールすることで開けるようになります。

#### Q4. 卒業後も使用し続けることが出来ますか？

A4. 在学中にインストール済みのOSとOfficeは使用を継続することが出来ます。ただし、一旦アンインストールを行った後は、使用することは出来ません。（再インストールは出来ません。）卒業ではなく退学等の場合はアンインストールする必要があります。

### 自宅からでもe-Learningシステムが利用できるようになりました。

「ネットアカデミー2」はWebブラウザ上でTOEICテスト対策や模擬試験などが行えるe-Learningシステムです。

従来まで射水キャンパス内でのみ使用可能でしたが自宅での空き時間を有効に活用したいという皆さんの強い要望に応じて自宅からの利用が実現しました。

本郷キャンパスの学生の皆さんも活用してください。

※ 利用に関しては英語教科担当の先生に問い合わせてください。

URL ● <http://alc-pc.nc.toyama.ac.jp/onet2/>



# 図書館情報センターからのお知らせ

## 図書館案内

### 英語多読本が入りました。

学生のみなさん、英語は好きですか？苦手意識を持っている人はいませんか？「苦手だな、でも何とかしないと…」、「TOEICの点数を上げたいんだけどやり方がわからない…」という人がいたら、間もなくできる図書館の英語多読コーナーをのぞいてみましょう。

両キャンパスの図書館にそれぞれ550冊が入り、まもなく閲覧ができるようになります。辞書を使わず、大きな挿絵を見て想像しながら英語を目で追ってみましょう。皆さんが目指している国際性豊かで実践力のある技術者にむけて踏み出してみよう。

やさしくて、きれいなイラストもたくさん入った英語の読みものがですから、目にとまったものから手にとってみてください。期待はずれのときは、そっと戻してほかのものを読んでみましょう。550冊もあるので、必ずあなたにぴったりの本があるはず。続けていると、気づかないうちに英語が読めるようになりますよ。「TOEICの点数が上がってきた」というおみやげまでついてくるかもしれません。一度、のぞいてみてくださいね。  
(国際教育センター 清水義彦)

### 卒業される皆さんへ

残り僅かな学生生活となりましたが、図書館で借りた資料の返却をお忘れなくお願いします。なお、延滞者への督促リストは図書館等に掲示してあります。また、図書館は一般開放しております。卒業後もどうぞご利用下さい。

### 在校生の皆さんへ

#### ●春休み期間中の休業貸出について●

- 本郷図書館・貸出期間：2月21日(月)～3月23日(水)
- 射水図書館・貸出期間：2月24日(木)～3月23日(水)
- 両館共・返却期限：4月6日(水)
- 両館共・貸出冊数：10冊まで



### 本郷図書館

**開館時間** 月曜日～金曜日 8:30から21:00まで  
土曜日 10:00から15:00まで  
試験期間中の土曜日 10:00から17:00まで  
休業期間 8:30から17:00まで

**休館日** 日曜日・国民の祝日、  
休業期間中の土曜日、および年末年始

**問合せ先** 総務課 図書(本郷)担当  
電話：076-493-5407  
FAX：076-493-5407

### 射水図書館

**開館時間** 月曜日～金曜日 9:00から19:00まで  
土曜日 13:00から17:00まで  
試験期間中の土曜日 13:00から17:00まで  
休業期間 9:00から17:00まで

**休館日** 日曜日・国民の祝日、  
休業期間中の土曜日、および年末年始

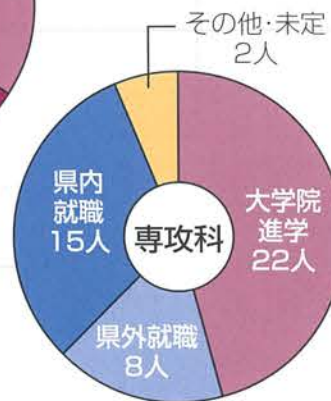
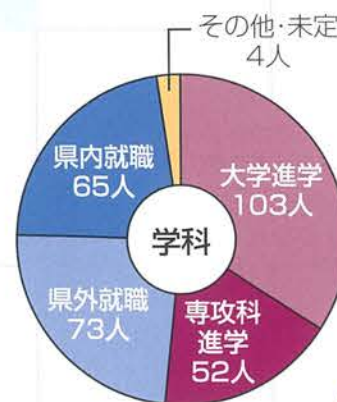
**問合せ先** 総務課 図書(射水)担当  
電話：0766-86-5138  
FAX：0766-86-5139

詳しくは、ホームページをご覧ください。

本郷図書館HP：<http://www.toyama-nct.ac.jp/lib/> 射水図書館HP：<http://www.toyama-cmt.ac.jp/facility/library/>

### 卒業生・修了生の進路

(平成22年3月22日現在)



### 平成23年3月卒業生・修了生の進学予定先

(平成23年3月22日現在)

#### 学科卒業生

北海道大学(工)  
秋田大学(工学資源)  
山形大学(工)  
群馬大学(工)  
宇都宮大学(工)  
千葉大学(工)  
東京農工大学(工)  
東京工業大学(工)  
東京工業大学(生命理工)  
電気通信大(情報理工)  
電気通信大学(電気通信)  
信州大学(経済)  
新潟大学(人文)(経済)(工)(農)  
長岡技術科学大学(工)  
富山大学(人文)(経済)(工)  
金沢大学(人間社会)(理工)  
岐阜大学(工)  
名古屋大学(文)(工)(情報文化)  
名古屋工業大学(工)  
豊橋技術科学大学(工)  
和歌山大学(システム工)  
京都大学(工)

京都工芸繊維大学(工芸科学)  
神戸大学(海事科学)  
九州工業大学(工)  
首都大学東京(システムデザイン)  
富山県立大学  
石川県立大学(食品科学)  
金沢工業大学(情報)  
大原学園  
富山高専専攻科  
福井高専専攻科  
東北財経大学 国際漢語文化学院  
(中国)

#### 専攻科修了生

東北大学大学院  
筑波大学大学院  
東京工業大学大学院  
電気通信大学大学院  
長岡技術科学大学大学院  
金沢大学大学院  
北陸先端科学技術大学院大学  
豊橋技術科学大学大学院  
京都工芸繊維大学大学院

### 平成23年3月卒業生・修了生の就職内定先

(平成22年3月22日現在)

#### 学科卒業生

アイシン・メタルテック(株)  
あおば農業協同組合  
アステラス富山(株)  
協伸熱処理(株)  
高志インテック(株)  
小林製薬ブラックス(株)  
三美創(株)  
サンエツ金属(株)  
サンコー(株)  
三晶技研(株)  
シーケー金属(株)  
ジャックコーポレーション(株)  
シンコー(株)  
第一ファインケミカル(株)  
ダイト(株)  
太平洋ランダム(株)  
立山科学工業(株)  
立山酒造(株)  
チューエツ(株)  
中越合金鋳工(株)  
中越バルブ工業(株)  
富山化学工業(株)  
富山ダイハツ販売(株)  
富山地鉄サービス(株)  
富山地方鉄道(株)  
富山富士通(株)  
ナチツールジェネシス(株)  
なのはな農業協同組合  
日東メテック(株)  
日本エレクトロニクスサービス(株)  
日本ゼオン(株)高岡工場  
日本曹達(株)高岡工場  
日本ソフテック(株)

ファインネクス(株)  
フジテックス(株)  
北陸銀行(株)  
北陸電気工業(株)  
北陸電気工事(株)  
財団法人北陸電気保安協会  
北陸電力(株)  
北陸電話工事(株)  
北陸発電工事(株)  
メガネのハラダ(株)  
ユニゾーン(株)  
陽進堂(株)  
リバーリトリート倶楽部  
(アイエス総合開発株)  
YKK(株)  
YKK(株)(ファスニング事業)  
YKK(株)黒部事業所  
富山県警察(事務)  
富山市役所  
旭タンカー(株)  
出光興産愛知製油所(株)  
今村証券(株)  
宇徳(株)  
宇部興産海運(株)  
NTT西日本ホームテクノ北陸(株)  
エヌ・ティ・ティ・ネオメイト(株)  
オムロンフィールド  
エンジニアリング(株)  
川崎汽船(株)  
関西電力(株)  
京セラ(株)滋賀蒲生工場  
グローバルオーシャン  
ディベロップメント(株)  
佐渡汽船シップマネジメント(株)  
三光汽船(株)

三興コントロール(株)  
GMOアドパートナーズ(株)  
滋谷工業(株)  
商船三井(株)  
商船三井フェリー(株)  
新日本石油タンカー(株)  
すかいらーく(株)  
セイコーエフソン(株)  
ダイソーコーポレーション(株)  
中部国際空港施設サービス(株)  
中部電力(株)  
電線(株)  
東海旅客鉄道(株)  
東京電力(株)  
東芝エレベータ(株)  
西日本電信電話(株)  
西日本旅客鉄道(株)  
日本海洋事業(株)  
日本原子力発電(株)  
日本郵船(株)  
任天堂(株)  
ノデラ(株)  
パナソニックシステム  
ソリューションジャパン(株)  
日立ビルシステム(株)  
ファーストマリナーサービス(株)  
富士ソフト(株)  
富士電機システムズ(株)  
富士通(株)  
三菱電機エンジニアリング(株)  
三菱電機ビルテクノサービス(株)  
三菱レイヨン(株)  
山崎製パン(株)  
ヤンマーエネルギーシステム(株)  
ユニエックス(株)

リコー(株)  
リバーズ東京(株)  
外務省  
経済産業省  
宮内庁  
独立行政法人国立印刷局  
衆議院(事務局)  
法務省東京入国管理局  
福井地方検察庁

#### 専攻科修了生

朝日印刷(株)  
三晶MEC(株)  
ダイト(株)  
ダイヤモンドエンジニアリング(株)  
立山科学グループ  
富山化学工業(株)  
日本オープンシステムズ(株)  
ファインネクス(株)  
北陸電気工業(株)  
陽進堂(株)  
リードケミカル(株)  
YKK(株)  
エヌ・ティ・ティ・コムウェア  
西日本(株)  
救急薬品工業(株)  
新日本海フェリー(株)  
テクニカフクイ(株)  
トヨタテクニカル  
ディベロップメント(株)  
社団法人日本海事検定協会  
任天堂(株)  
国土交通省造船職員

# 就職・進学体験記

## 自分と向き合った就職活動

### 機械工学科 福村 将彦

私は、この4月から西日本旅客鉄道株式会社に働きます。就職活動を通して多くのことを学び、成長しました。

就職活動には強い精神力が必要です。学生生活では経験しない緊張した雰囲気の中、これまで話をしたことがないような人たちに囲まれ、慣れない口調で慣れないことを瞬時に答えなければならぬ面接は言うまでもありません。応募書類に記載する事項を検討し、最高に丁寧な字で書き上げるだけでも大変な労力です。書類の作成や面接の準備として、学生生活における自分の行動、やり残したこと、将来の人生設計など、今まであまり考えなかったことを、深く考えさせられます。これが長期にわたるため精神的に非常に疲れます。私は考えるときはしっかり考え、気晴らしもしっかりするとメリハリをつけて長期戦を乗り越えました。また、考えを深めれば深めるほどネガティブになりやすいので、自分に自信を持つことも大切なことです。

次に時間の大切さです。就職活動では事前にやるべきことがたくさんあります。SPI対策や、企業セミナーや工場見学への参加などです。勉強と同時進行で時間が足りずどうしても焦ってしまいます。できることはすぐ実行すべきだと強く感じました。

何より一番感じたことが、周りの人たちに支えられて就職活動を乗り越えられたことです。今まで養ってくれた両親、就職活動中の友人達との情報交換や切磋琢磨、何度も相談にのって頂いた先生方、いろいろな方からの応援のメールなど、考えれば考えるほど自分の力だけでここに辿りついたのではないと思います。ご支援いただいた方々には本当に感謝しています。これからも頑張りますので、今後ともよろしくお祈りします。

現在就職活動をしている後輩もこれから就職活動をする後輩も、全力でがんばってください。親から授かったたった一度の人生です。後悔のない学生生活を送ってください。私も来年から社会人として、仕事も遊びも常に全力で臨んでいきたいと思っています。

### 環境材料工学科 田中 拓馬

本年度は大卒の就職内定率が70%を切り、過去最低を記録した就職氷河期となりました。もちろん高専もその影響を受け、就職活動は厳しいものとなり、1社目で内定となった人は多くありませんでした。

就職活動は自己分析から始まります。自分の長所短所や性格など普段あまり考えないことを考えなければならず、とても苦労したのを覚えています。自分一人だけではなく友人や家族、先生方などと意見を交換するのが良いと思います。

私は初めての採用試験で緊張のあまり上手く喋ることができず、自分の言いたいことを面接官に上手に伝えることが出来ませんでした。そこからまた焦りが生まれ、結果は不採用でした。しかしながらこの採用試験で本番の空気を感じてこられたのは大きな経験となりました。次の採用試験では、絶対に緊張だけはしないように、面接を楽しんでくるくらいの気持ちで臨もうと心に余裕を持った状態で試験を受けることができました。その結果、緊張することもなく無事に内定を頂くことができました。

今振り返ってみると私は就職に対する準備や心構えが少し足りず、甘く考えていたように感じます。進学、就職希望のどちらの人も同様に、例えば勉強や面接練習など、努力を惜しまないで下さい。もっとやれば良かったと後悔しても遅いですし、また努力は自分を裏切りません。苦しいと感じるかもしれませんがここで

の積み重ねが自分の未来を左右します。自分の希望する進路に進むために頑張ってください。

### 電子制御工学科 松田 隆太郎

私が「就職」を考え始めたのは4年生の前期、就職ガイダンスが始まる頃です。その時点で機械系のエンジニアとして働きたいという方向と就きたい職種も考えていましたが、自分にマッチした会社の名前を挙げるできませんでした。やりたい事を考えるだけで企業調べをしていなかったのです。ちょうどその頃、インターンシップで、2週間広島へ行くことになりました。そこでは、技術者が専門知識をどのように活用しているのかを現場で見せていただくことができました。何よりも職場の方が仕事に対して誇りと達成感を持っておられた事が一番印象的でした。その時、私はこの職場で働きたいと思うようになりました。

以後、色々な会社の説明会に行き、詳しく話を聞くようになり、改めて自分のやりたい仕事を考え、「どんな業務に携わりたいか」という志望動機も明確に言えるようになっていきました。採用選考に向けて友人に協力してもらい自分の長所・短所をまとめ、ノートに言いたい事を全て書き出し、面接練習を繰り返しました。履歴書も10回以上書き直しました。本番では11年間のボイスカウト活動で様々な事に挑戦し経験を積んできた事、学校で幅広い専門知識を学んだ事を自信と武器に選考へ挑み、無事インターンシップでお世話になった会社から内定を頂くことができました。

私の就職活動は面接で武器にした内容やインターンシップでの経験があってこそ成功でした。私にとって就活は自分を見直すいい機会でした。これから就職活動をする皆さんが、就活を終えたその時の結果に満足できるように願っています。

### 国際流通学科 杵淵 日向子

私は4年生の冬休みから、フォーラムに参加しました。ニュースなどで就職氷河期と騒がれていたため、少しでも早く始めてモチベーションを高めようと思ったからです。

最初は就職活動支援サイトで企業研究をし、同時にSPIや一般常識、時事問題の勉強を始めました。また、自己分析をし、自分はどういう人間なのか改めて振り返ると、短所ばかり思いつき長所がなかなか出てきません。自己アピール文では上手に文章に表せず、四苦八苦ししました。しかし、教官や就業支援センターの方にアドバイスをもらいながら履歴書や自己アピール文を完成させました。企業によって求める人物像は違うので、アピールしたいことを変えながら考えることが大変でした。

企業説明会に参加した時は、メモを取り質問は必ずするようにしました。説明会の時点で少しでも顔と名前を覚えてもらい、アピールしたかったからです。採用試験が始まる頃には友達と面接練習をしました。本番ではどんな質問をされるか分からないので、すぐに答えられるようにいろいろな引き出しを用意しました。

採用試験が始まった当初、上手くアピールができず最終面接までなかなかたどり着くことができませんでした。落ち込んだ時もありましたが、ここでやめたら困るのは自分だと思い、絶対諦めないという気持ちで最後までやり抜きました。

就職活動は決して楽ではありませんでしたが、自分を振り返ることで新たな自分に気づくことができました。また、いろいろな企業の方の話が聞けたり、他の就活生と情報交換ができたので、とてもいい経験ができたと思います。就職活動をするみなさんには、最後まで諦めずやり抜いてもらいたいと思います。



## 教育技術センター

### 教育技術センターの学生向け活動

教育技術センターは、地域と協働した学生や地域人材の教育、教職員の能力向上のために、教育プログラムを企画・開発し実施しています。今年度は、本科1年生を対象に高専ものづくり基礎工学実験とキャリア教育を実施しました。ものづくり基礎工学実験では、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科と電子情報工学科の工学系の1年生が、高専での学びの機会を知ること、地域や企業で必要とされるコミュニケーション力の基礎を身につけること、そして、広い視野を



持つために、本校で学べる分野である工学系4学科と国際ビジネス学科と商船学科の計6学科の授業・実験実習ができるよう教育プログラムを作成しました。この授業を通して学生は、ものづくりには多くの分野や人や組織が関わることを知りました。また、学生の授業の感想から、学際的な視野を持ったエンジニアへの志を持ったこと、チームワーク、コミュニケーション能力、行動する力などの人間力の重要性に気付いたことが述べられていました。

また、文部科学省の中央審議会では、大学等において、キャリア教育、職業教育を実施するように答申がありました。これまで、高専は、教育機関としてキャリア教育を十分に実施してきましたが、更なる教育の質を向上と学生の学習意欲を高めるため、富山高専では、キャリア教育を体系化し、学年に応じた教育を実施するための準備をしています。その一歩として、本科1年生を対象として、担任の協力を得てホームルームの時間に実施しました。内容は、目標や夢をしっかり持ち、社会での活躍を意識した学びを促すために、夢・目標と取り組む意識との関係、夢・目標と働く意義との関係、自己分析、社会人基礎力の重要性についてふれました。

## 国際教育センター

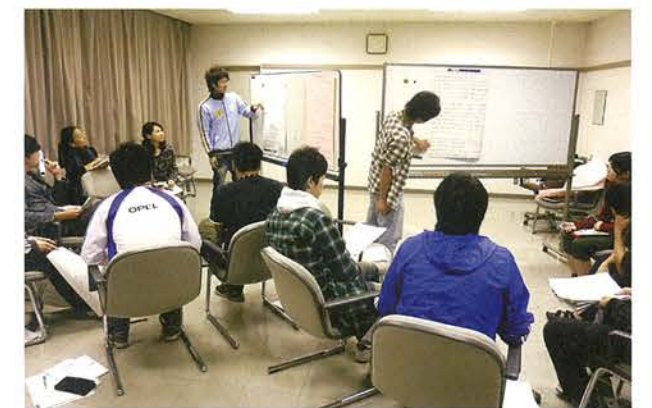
国際教育センターでは、「国際性豊かで実践力のある技術者の育成」に向けて、学生の皆さんへのプログラムをいくつも実施しています。今回は、その中から2つを紹介いたします。

まず、「英語発信力をつける2つの講座」です。1つはアカデミックライティング講座といい、自らの研究を国際学会で発表するための英語論文を書く講座です。専門教員、英語科教員も加わって、最後はプロのネイティブチェックで完成となります。今年は50名近くの学生の応募がありました。2つ目は、英語プレゼンテーション講座です。これは、自分の研究を英語でどうやって伝えるか、その技術を学ぶ講座です。ライティング講座で完成した英語論文を元に学ぶ学生が中心となりました。東京から講師を招いて、TOEIC対策の時間も入れた集中講座という形で行いました。延べ70名の参加がありました。そして11月には国際会議でポスター発表をし、学内ミニ国際会議CAST2010でも、100人を超える聴衆、ネイティブの審査員、東海北陸地区高専の先生方を前に両キャンパスの学生が発表を行いました。努力が報われる貴重な経験になったという発表者の言葉が印象的です。

次に、「海外インターンシップ事業」を紹介します。この事業は、8月から1ヶ月間、本校の交流提携校である北アイルランドのSouth Eastern Regional

Collegeを拠点として毎年実施されます。今回は、16名の学生が参加しました。渡航前には、英語科の先生の協力を得て、英会話セミナーやe-learning発音指導・技術英語指導などの事前研修も充実しています。英語圏の企業、大学に身を置いて学ぶ場は、今後の進路選択に貴重な経験となるはずですが、参加者は、視野を広げ一回りたくましくなって後期の授業へと入っていきます。

このほか国際教育センターでは、学生の皆さんがグローバル社会に羽ばたくサポートプログラムをまだまだたくさん用意しています。今後もみなさんの積極的な参加を期待しています。





# 地域人材開発本部からのお知らせ

## 第17回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムの開催

「第17回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム (ASET17)」が11月11～13日の3日間にわたり、富山県黒部市の宇奈月国際会館「セレネ」において開催されました。ASET17では、中国、韓国、タイ、マレーシア、インド等の研究者に加え、多数の高専の専攻科生257人を含む約500人が参加しました。富山高専専門学校からは、4人が口頭発表、19人がポスター発表しました。今回のシンポジウムでは、Excellent Presentation Awardsを国際ビジネス学専攻科1年生の澤田彩水さんが、Good Presentation Awardsを機能材料工学専攻科2年生の唐島田龍之介さんと国際ビジネス学専攻科1年生の山崎敦子さんが、Best Presentation Awardを機能材料工学専攻科2年生の澤井光さんが、Good Presentation Awardsをエコデザイン工学専攻科1年生の坂井陽介さんが受賞しました。Best Presentation Awardを受賞した澤井さんは、ASET17を振り返り「多くの研究者と交流しさまざまな意見に触れることができたので、自分の視野を広げる貴重な3日間であったと思います。」と話しており、進学先の金沢大学大学院でも新たな刺激を受けつつ研究に励む決意を新たにしていました。

また、自分の研究や他分野への理解を深めるとともに

視野を広げようと81人の学生が参加しました。学生の中には、このシンポジウムを通して他高専や海外の大学と交流を図りたいと、シンポジウム初日のバンケットの中で学生交流会を企画しました。学生交流会では、各校の代表者が5分程度で学校の紹介を行いました。プレゼンテーションを行った学生の中には、「多くの人の前で、しかも英語でのプレゼンは緊張した。」という学生もいましたが、学校や研究について質問されると嬉しそうに答えていました。

学生のみならず、多くの研究者を前にしての英語による発表、英語による発表に対する質疑・応答の経験を通して、国際的視野を持つとともに大きな自信となった3日間でした。



## 地域イノベーションセンター

### 特別教育研究経費「高専モデル事業（高専の情報発信に関する改革推進経費）」 地域元気！輝け、明日の女性技術者！－文系・理系コラボによる地域活性化プロジェクト－

本プロジェクトでは、ものづくり技術力の継承と発展を担い、そしてイノベーションの創出に貢献する優秀な女性技術者を地元産業界に輩出することを目的に、卒業生とのネットワークを構築し、さらに地域との協働プロジェクトを推進し、女子学生のキャリア教育に取り組みました。特に、地域との協働プロジェクトでは、これからの技術者に求められるであろう「イノベーション」「グローバル化」「持続可能性」「多様性」という4つのキーワードに基づいて、女子学生が主体的に地域の課題に取り組みました。



その結果、ネットワーク構築では、まだ少数ではありますが着実に本校OGとのネットワークが構築されており、そのネットワークは国内だけではなく米NPO法人アニタポグを通して海外ともつながっています。これらのネットワークを活用し、座談会など卒業生と話し合える機会を設けました。学生からは、卒業後の進路を考える上でとても参考になり、今後も開催して欲しいとの要望が多数ありました。

また、地域との協働プロジェクトでは、宇奈月温泉前に設置したサテライトオフィスを活動拠点に、女子学生と若手経営者との意見交換会、低炭素社会を目指す宇奈月温泉をわかりやすく紹介したリーフレットの作成、温泉水を利用した温度差発電装置の開発、鉄道会社とコラボレーションしたトロッコ模型の作成、地元小中学生を対象とした科学実験イベントを実施しました。また、特別養護学校の子供たちを対象としたiPhoneアプリケーションの開発も行っています。これらの活動は、地元メディアだけではなく、日経新聞などの全国紙にも取り上げられました。

### 制御情報システム工学専攻 新田 真浩

2011年春に民間企業への就職を希望する学生は全国で約45万人。しかし、12月1日時点での内定率は69%ほどと聞きます。過去の氷河期を越える就職難であった今年度の就職活動。私たち専攻科生も、運悪くその時期に就職活動をしなければなりません。年々早まる就職活動の風潮に流されるように、私たちも専攻科に入学して半年ほどの、2009年秋に就職活動を始めました。企業合同説明会も大勢の人でごった返し、単独の説明会も数時間もせず予約がいっぱいになりました。周りの人がどんどん決まってく中、私は焦りと不安を抱えながら面接に臨んでいましたが、5月の終わり頃に内定をいただくことができました。

就職活動をして感じたことは、学生時代をいかに有効に、悔いなく過ごすかが自信へと繋がるということです。就職活動では、本科時代に取り組んだテニス部での経験と専攻科時代に嫌になるほど向き合った特別研究の2つを軸に自己PRをしました。特に研究においては、日頃から知識を身につけ、どんなことを聞かれてもしっかりと答えられるように準備しました。自己PRでは、学生という立場である以上、学業を怠らないことは大前提です。加えて、何かひとつ自信を持って「学生時代にこれをやってきた」と言えるものが重要です。部活や研究、資格や課外活動など人それぞれですが、そういうものを学生時代に必ず持ってほしいと思います。結果、それが学生生活の充実につながっていきます。毎日をただなんとなく過ごすことだけは絶対にやめてほしい。学生時代に充実した日々を送ることで、少しずつ進路という道は開けていくと私は思います。



## さらなる夢を追いかけて —編入学—

### 電気工学科 太田 守

私は、高専で身に付けた知識をより一層深めていきたいと思い、はじめから就職ではなく進学することに決めていました。そのため4年生の県外工場見学では以前から興味があった東工大の見学してきました。また、ありがたいことに東工大や東大への受験を熱心に勧めてくれる本校の先生もおられました。しかし、工業系に特化した大学は県外にあるため、大学に入るためには一人暮らしをしなければなりません。また大学への編入学だと高専での単位が認められないことや勉強以外にもバイトや家事などしなければならないなど、今以上に研究に割ける時間が少なくなります。

有名大学は受験日が遅く、下手をすれば自分がやりたい研究ができる大学へいけなくなるというリスクが高くなります。どこの大学に行くか決めかねていたところ、一際目立って受験日の早い専攻科が目につきました。調べてみると今までの5年間と同じ環境で継続して研究ができる、大学と比べて学会などで発表する機会が多い、授業料が安い、本科の5年生から始まる卒業研究を特別研究という形で引き継げるという理由から専攻科が自分には合っていると思いました。その上、専攻科は入試日が早く、5年の前期のうちから進学先が決まったことでより充実した卒業研究ができました。

専攻科では一層勉学に励み、研究に勤しむ所存であります。

### 物質工学科 中室 貴幸

高専での5年間は、将来を大きく変える5年間です。やはり青春の真只中を過ごすわけですから、いろいろとしたいこともあるでしょうし、十分時間もあります。しかし、学生の本分は勉強です。自分が将来やりたいこと、進みたい進路を切り開くためには勉強が必要なのです。

私は編入学試験で京都大学、東京工業大学、名古屋大学、東京農工大学に合格することができました。このように満足できる結果を得ることができたのは、いくつかの理由があります。それはまず、早い時期（三年時）から目標を持って勉強に取り組んだことです。私が編入の勉強を始めた時は、これらの大学には到底届かないレベルでした。しかし、あえて目標を京大としました。高い目標を設定することで、自分を奮い立たせることができるとともに、その目標にたどり着くためにすべき努力が明確になるからです。

また一番大事だと思ったのは誰かのために勉強するという事です。私達は決して一人では生きていけません。決してです。それは勉強も同じです。高専で学ぶことができるのは両親のおかげであり、知識を得ることができるのは先生方のおかげです。誰かのために何かをしようと思うと、実力以上の力を出すことができるのではないかと思います。それは人のためだけでなく、将来の自分のためでも構いません。今、辛い思いをすれば必ず、いつか報われる日がくるでしょう。

もうすぐ卒業を迎えますが、高専生活は5年間もあるのではなく5年間しかありません。皆さんの将来が素晴らしいものとなるために、できるだけ早くその一歩を踏み出してください。結びとして、昨年の卒業式に先輩方へ送った言葉をみなさんへの激励のメッセージとして送ります。

All our dreams can come true - if we have the courage to pursue them.

追い続ける勇気があるなら、すべての夢は必ず実現できる。

春から目標としていた京都大学に編入学することができます。この場をかりて、支えてくださった両親や先生方、友達、先輩、後輩に感謝の意を表したいと思います。

### 情報工学科 岩瀬 大吾

私は今年度6月に推薦入試を受け、長岡技術科学大学工学部の電気電子情報工学課程への進学が決定しました。試験の内容は学部での先生方、校長先生方の二度に分けての面接で志望動機、入学後の抱負などを中心に質問されました。これらの質問は事前に何人かの先生との練習で何度もやっていたので、自分の考えを十分に伝えることができました。面接会場の雰囲気明るくととても助かりました。

この大学への進学を視野に入れたのは4年時の学校説明会がきっかけでした。研究内容や特待生制度など、高専生に合ったカリキュラムが組まれていることがとても魅力的だったからです。

当初、私は進学に関してとても安直な考えをしていました。しかし、クラスメイトに感化され一緒に真剣に考えるようになり、教師になるという目標も持つことができました。大学に進学後は自分の研究を進めていくとともに、コミュニケーションなど、教師に必要な能力も養っていきたくてと思っています。

私は、進路を考え始める時期が遅れ、実質的にクラスメイトよりも時間が短くなってしまいました。進路の選択は大切な人生の岐路であることをしっかりと認識しなければいけません。また、先生や家族と相談することも大切です。自分だけでは知りえなかった情報が必ずあります。自分の進路を十分に考え、目標を見据えてそれを達成できるよう頑張ってください。

# 第2回 高専祭(北斗祭)

## LINK

高専祭実行委員長(情報工学科4年) 重原 彩希

11月、第2回高専祭—北斗祭—が射水キャンパスで開催されました。実行委員長という大役を任せいただき、前日まで「晴れるだろうか」「予定通りに進むだろうか」「お客さんはたくさん来てくれるだろうか」と、とても緊張していました。しかし、当日は私の心配など吹き飛ばすように快晴に恵まれ、用意したパンフレットが足りなくなる程の来場者。ステージ企画もタイムスケジュール通りに進んでいきました。

今年のテーマは『LINK』。統合した本郷キャンパスとのつながり、地域の方々とのつながり、父兄とのつながり、OB、OGとのつながり、そして、学年同士のつながり、学年を超えた射水キャンパス全体のつながり。私たちの周りにはさまざまなつながりであふれています。そのつながりを大切にしてみんなで一つの高専祭を作り上げたい!という願いがこのテーマです。今年は統合後、射水キャンパス初めての高専祭でした。本郷キャンパスと連携をとることがとても大変でしたが、さまざまな企画に参加して頂き、互いのキャンパスが協力し合い作り上げることができたと思います。もちろん射水キャンパスの学生は、前日までの準備段階から学校全体で作っている実感が生まれてきて、私自身とてもわくわくしていました。連絡の不行き届きなど反省点も多々ありましたが、テーマはしっかり達成することができたと思います。

今回の高専祭を開催するにあたって、ご協力いただいた企業の皆様、PTAの皆様、地域の方々、先生方、富山高等専門学校に関わるすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りて御礼申し上げます。これからもこのつながりを大切にしていきたいと思っています。



## 北斗祭に参加して

副実行委員長(環境材料工学科4年) 伊東 篤志

11月に行われた北斗祭。射水の実行委員と本郷の学生会は大成させようと夏休み前から打ち合わせをしました。私達本郷キャンパスの学生会からは模擬店を出すことになり、悩んだ結果おでんとそばを作ることに。会計局長と予算の話し合いをし、できるだけ無駄な出費を減らすように心掛けながら学生会が一致団結して臨みました。

前日から合宿所を使わせてもらい下準備をしました。北斗祭1日目。人が増え始めた昼頃、ようやく売れ始めて少し安心。おでんは様々な食材を用意しましたが、特に大根と卵と牛串が人気で、途中で買い出しに行かねならないほどでした。そばも順調でしたが、100食売ることができず、最後は1杯100円にしてなんとか完売しました。この日は学生会メンバーの家で下準備をしました。2日目。昨日の反省を生かし、そばは70食にし、大根、卵、牛串を増やしました。しかし、ここでトラブル発生。そばのつゆに味の素を入れ過ぎてしまったのです。味を戻すのに時間がかかりましたが、その分つゆはうまくまりました。それよりも一番の不安は1日目の安売りが響かないかということです。基本を月見そばにした結果、思ったよりも売れ、無事に完売することができました。おでんに至ってはやはり大根が品切れ、再び買い出しに。無事おでんもそばも売り切れて安心しました。何よりも学生会全員が一致団結したことがうれしかった。学生にとっても、地域の人にとっても、学生会にとっても、そして私にとっても北斗祭は良い思い出になりました。

前期末と予定がかなり詰まっています。

予定とは別に辛いこともありましたが。射水キャンパスと連絡をあまり取らず計画を進めてしまっていたので、学生間の衝突もありました。当初、私は射水と本郷の球技大会は同じようなものだと思っていました。冷静になればわかることで、男女の比率が本郷と射水では全く逆で、当然ルールもかなり異なっていました。それにすぐに気が付かなかったのが最大のミスでした。それまでの球技大会のルールを射水の人に伝えるとかなりひんしゅくをかいました。原因は女子ルールが適当すぎるということでした。男女の比率が全く逆となるとルールの改正が必要になり、これにはとても苦労しました。他にも問題はありましたが、それでもやらなければならないと思い、学生会長をはじめ学生会全員の力を借りて、なんとか実行に持っていくことができました。この時私は団結するのはうれしいことだと気付きました。

不安に思っていた合同球技大会が無事終わると、心の底から達成感が湧き、快い気持ちになれました。辛かったけど、このような体験はなかなかできないです。学生会に入ってよかったと思いました。この経験がいつか役にたてばいいと思いました。

# 統一球技大会

## 合同球技大会～苦しみの中に喜びが～

本郷キャンパス体育局長(電気工学科4年)

草 彰彦

10月の中旬に行われた球技大会は、私達学生会にとってとてもいい経験になりました。同時にとても辛かった思い出です。まず合同球技大会は昨年で終わりだと思い、何も準備していなかったのです。いつ、何をやるのかから決めなければなりません。4月から話し合いましたが、時期的にも厳しく、合同球技大会の前に、本郷キャンパスの球技大会、それが終わると前期中間、夏休み後すぐに



## 東海北陸地区大会

10月3日 愛知県豊田市スカイホール豊田

## 全国大会

11月21日 国技館

## 高専ロボコンでの経験

機械工学科4年 河原 貴軌

今回のテーマは「激走ロボ力車」でした。私達のAチームは全国出場を目指すべく3年連続同じメンバー構成で、これまで積み重ねてきた経験と技術を蓄い「印象に残るような大きく美しいデザインを持ち、かつ上位のタイムを出す」事を目標としたロボット製作を始めました。

ロボットの設計製作は、ロボットが大きければ大きいほど2乗、3乗と比例して難しくなっていきます。様々な工夫を取り入れて設計しても、作った後に問題が生じ、一日中ロボットと向き合った日もありました。作って動かしてはまた作り直し、ギリギリまで妥協せず作り上げていきました。授業で疲れた後の製作活動で、時間に追われ大変でしたが、家族より長い時間過ごす仲間と時にはふざけることもあってとても楽しい時間でした。



「特車技課(とくしゃぎか)」

完成度に自信を持って挑んだ地区大会では、10校20チームが参加の中、タイムは実質2位でした。しかし、トーナメントで早々に1位の射水キャンパスと当たり、事実上の決勝戦を繰り広げ、惜しくも敗退しました。全国出場の推薦チームに選ばれる事を期待した閉会式では、推薦ならず、賞すらも逃してしまいました。受け入れ難い結果に、メンバー一同茫然としていましたが、他高専のロボコンストからは好評を戴き、「大好きだった」という声に励まされました。また、一般の観客やテレビで放送された映像を見て「あのロボットは好きだった」という声を聞き、とても感動しました。今年の経験で、地区トップレベルの技術を持った今、今度は全国上位を目指して頑張ろうと思います!

最後に、仲間以外にも、製作を手伝ってくれた1年生、特殊な部品の加工をお願いした工場の方々、また、後援会のご支援に感謝しています。ここまでこだわったロボットを作れて誇りに思っています。

## 夢にまで見たロボコン

機械工学科2年 朝日 康平

本郷キャンパスBチームは全員が2年生のメンバーで出場しました。競技課題が二足歩行ロボットで操縦者が乗った乗り物を牽いていくということだったので、私たちは祭りの山車を乗り物、それを牽く人を二足ロボットと見立て、曳山祭りをテーマにマシンを製作しました。

2年生は二足ロボットの知識が無い上、設計することを経験していなかったのが不安でしたが、昔からTVで観ていたロボコンに出場できる嬉しさもあり全員がやるぞと気を引き締めて取り組みました。まずは全員でアイデア出しをし、まとまったところで作業ごとに分担し、それを実現させるための機構などを勉強し設計していきました。設計までは上手くいったものの製作段階で不備が見つかってやり直しということを繰り返し、大変辛かったのを覚えています。このとき、工場の皆さんが手伝って下さり、先生方がアドバイスや差し入れをして下さり非常に助かりました。

試行錯誤の末、ロボットが二足歩行出来るようになり、乗り物を牽くことも出来るようになり、なんとか会場へ搬送する日に間に合いました。しかし、前日のテストランで二足歩行ロボットの原動節のピンが折れ歩けなくなりました。全員で協力し急いで代用品を作り、なんとか動くようになりました。本番では乗り物とロボットを連結させる場所まで歩くことが出来ましたが、歩行中にピンが折れてしまい、連結後再度歩き出すことは出来ませんでした。非常に辛くて悲しかったのですが、距離にして7.5mを歩いたという事実には嬉しく思いました。次年度では今回の経験を生かし、全国大会にいけるマシンを製作していきたいです。



「dash!(だし)」

# ロボットコンテスト 2010

## 多くのものを得た五年間

電子制御工学科5年 花岡 元太

高専ロボコンは各高専から毎年2チームが出場。5月にルール発表、10月地区大会、11月に全国大会というスケジュールで約半年かけてロボットを製作します。

私は1年生でメカトロ部に入部し、ロボコンに毎年参加しました。当初は、ロボットづくりは難しいイメージがあり、ついていけない不安でした。しかし、先輩達に丁寧に教えられ、友達と助け合っていくうちにその不安はなくなり、部にいた4年間は楽しかったことが本当にたくさんありました。

昨年4年生の時の大会結果が悔しく、部を引退したはずの5年生が集まり、全国大会での優勝を目標に今年もロボコンに参加することに決めました。メンバー全員が4年間ロボコンを経験しているため、次々と作業が進み、今までで一番早くマシンが完成しました。

10月の地区大会で優勝を果たし、全国大会への出場が決まりました。地区大会後は全国大会へ向けて何度も作戦を考え直し、マシンの改良を繰り返しました。本郷キャンパスのメカテック部の方々からもアドバイスをいただき、地区大会の時ではまだ夢のようだった全国大会での優勝を狙えるマシンになりました。

しかし、全国大会では練習との環境の違いに対応できず、マシンの性能を活かせないままベスト8で終わりました。国技館まで応援に来てくださった方々の期待に応えられず、また試合後に挨拶に行った時、まともにお礼も言えず大変申し訳なかったと思っています。

結局5年間ロボコンに参加して達成できた目標はあまりなかったけれど、友達や先輩後輩と助け合ったり、ロボコンを通して他の高専生と交流したり、自分達で考え、試行錯誤しながらロボットをつくったことは何ものにも代えが

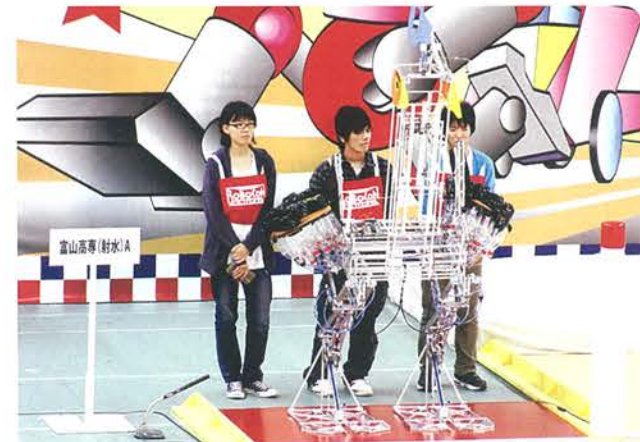
たい経験になったと思います。高専に入って、ロボコンに参加して本当に良かったと思える5年間でした。応援してくださった方々、技術的な面でサポートしてくださった方々、本当にありがとうございました。

## 高専ロボコンに参加して

電子制御工学科4年 木田 祥信

2010年の高専ロボコンのテーマは「激走！ロボ力車」という二足歩行ロボットで人間を乗せた台車を引いて歩くというものでした。二足歩行ロボットは人間を引くためのパワー、1秒でも早くゴールするためのスピード、また、ゴールするためにリングに鍵を差し込む精密な動作も持ち合わせる必要がありました。また、3年連続の二足歩行となるので完成度の高い二足歩行ロボットがたくさん出てくるのが予想されていました。

私は射水キャンパスAチームのリーダーとして参加しました。圧縮した空気でエアシリンダーを動かし、その力で歩行をするという他のチームにはない機構を用いた鳥型のロボットを製作しました。しかし、設計や製作に時間をかけ過ぎ、調整不足になり、地区大会で満足のいく結果を残すことが出来ませんでした。もし、来年もう一度参加する機会があれば、どのような難解なテーマが出てくるかわかりませんがこの経験を活かして効率よく作業を進め、万全の状態で挑みたいと思いました。



「駝鳥風月（だちようふうげつ）」

たくさんの時間をつぎ込んでロボコンをやった良かった、頑張った甲斐があったと思える瞬間は多々あります。例えば、設計したロボットが完成した時、製作したロボットが動いた時、課題をクリアした時には大きな達成感に包まれます。物づくりが好きな人、ロボットが好きな人は是非一度メカトロ部に来てください。

## 高専祭に参加して

### 鉄道部展示 in 射水キャンパスを終えて

電気工学科5年 上田 葵

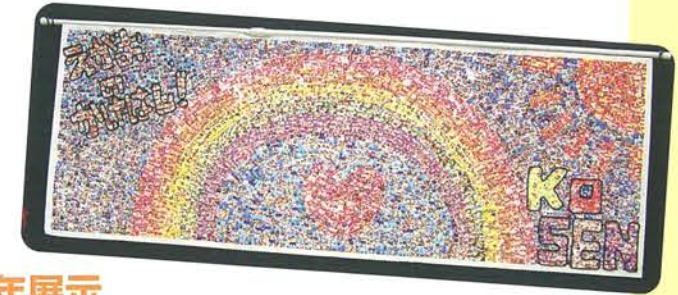
学校生活最後の学園祭は、射水キャンパス開催で、本郷からの参加はわずかでした。その中で、鉄道部が展示をさせていただけたことは大変嬉しく思います。

鉄道部展示は大型のレイアウトや様々な展示でスペースを取ることあり、場所の確保や運搬方法など、関係各位との交渉は難航しました。一番の不安は、見てくださる方がいるかということでした。鉄道部は、一般の方からは、ただのファンの集まりとしか解釈されません。そのため、独断と偏見で判断されがちです。せっかく射水まで行ったのに…とならないことを祈るばかりでした。ところが前日の準備を迎え、鉄道部の力が続々射水へ到着すると、その心配はあっさり、しかし良い意味で裏切られました。準備をしていた学生の方々や先生方には準備中から何度も足を運んでいただき、その度に感嘆の声が上がっていました。

いよいよ本番。スタンブラリー企画のチェックポイントになっていたこともあり、想像をはるかに超える多くの方々に来ていただきました。鉄道部の花形鉄道模型ジオラマは4種類用意しましたが、どれも子供から大人まで大人気。度々来訪者に説明する部員の姿がありました。他の展示も大好評で、体験型イベントコーナーでは何度も順番待ちができていました。最初の心配はまるで嘘のように消え、とても充実した楽しい2日間が無事に幕を閉じました。

来年度は再び本郷キャンパスでの展示です。鉄道部は力作の数々を披露します。次回の展示にも大いに期待してください。最後に、展示準備に尽力してくれた部員達、ご協力いただいた

学生会、先生方、射水キャンパスの皆さん、足を運んでいただいた多くの方々にご場を借りて御礼申し上げます。



### 一学年展示 北斗祭みんなのプリクラ集まれば 虹の架け橋空へと架かる

商船学科1年 池崎 祥希

高専祭の一学年展示のテーマは「笑顔」でした。一年生全員の笑顔を表示しようと、とびきりの笑顔で撮ったプリクラを一人一枚ずつ集めて大きな虹の絵を作りました。仲良しのみんなで撮ったプリクラ、一人で撮ったプリクラ、逆立ちや変顔など面白いプリクラなど、一枚一枚で見ても、一枚の大きな絵として見てもとても楽しく笑顔あふれる展示になりました。学年全員が力を合わせ、一つのことを真剣に作ることでできたことが大きな喜びでした。もう一つは、電子情報、国際ビジネス、商船学科が、クラス全員で分担してワンフレーズずつ歌い、それをつなげて曲にした歌ビデオです。これはクラス毎に作ったもので、肩を組んで歌ったり、踊りながら歌ったり、組体操をしたりと元気いっぴいのクラスの個性あふれる展示になりました。

当日は、プリクラで作った絵を見て枚数の多さに驚いたり、どんな人がいるのか目を近づけて見たり、写真を撮ったり、ビデオを楽しそうに見ていたりとても人気のある展示になったと思います。

展示物を作った私達は楽しく笑顔で作りましたが、見ている人も笑顔になって、テーマにふさわしいものになりました。積極的に学年展示を盛り上げてくれた実行委員、サポートしてくださった先生方、何よりもこのような場を提供してくれた北斗祭実行委員に感謝します。

### 合同球技体育大会を終えて

射水キャンパス低学年実行委員長(情報工学科3年) 大場 由太

合同球技大会(低学年)は、実行委員会を立ち上げて、最初の打ち合わせから2週間ほどで当日を迎えるというハードスケジュールのもとで慌ただしく始まりました。両キャンパス合わせて千人ほどの学生を束ねるのは不安な面もありましたが、運動部中心に意欲的な人が実行委員になり、労をいとわず働いてくれて、円滑に準備を進めることができました。

当日は競技や大縄を通じ、両キャンパスの学生が交流している場面が随所に見られました。実行委員は各競技で、準備段階では気付かなかった部分を補うことで手いっぱいでしたが、それぞれ臨機応変に対応してくれ、無事全競技を終えることができました。

「楽しむ」側から「楽しんでもらう」側になり、長い準備段階を踏み、多くの人の協力を得て初めて当日があることを実感しました。純粋に楽しむことができた今までの球技大会の裏に、先輩方の苦勞があったことに気がきました。さらに、一からすべてを自分たちで検討し、作りあげることの難しさも感じまし

た。その分当日楽しんでくれている学生を見たときは心から嬉しく思いました。

来年度からは球技大会だけでなく、学生会としてあらゆる活動を自分たちの学年で運営していきます。今回の球技大会を通じて、私達は率先して行動することができ、協力しあえる学年であることが分かりました。

最後に、球技大会を行うまでに多くの教官方、学生課の方々協力していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



「はびゅん」

# 県外工

## 本郷キャンパス

### 人生の糧を得た工場見学 機械工学科4年 金谷 拓海

私たちの訪問先はIHI、花王川崎工場、JFEスチール東日本製鉄所、山梨リニア見学センターおよび国立科学博物館でした。

IHIでは様々な検査機械を見学しました。特に印象に残った所は風洞実験と張力測定実験です。風洞実験では建物の大きさや高さが建物自身の振動や周りに与える影響を調べるためのもので理解しやすいものでした。また福浦事業所ではX線による非破壊検査を体験しました。

花王では泡切れの良さや汚れ落ちの試験を見学しました。製造ラインにも様々な工夫がしてあり、最終箱詰め工程では、ラインに支障が起きた際でも各製品の運び出しに支障がでない様に工夫されていました。

JFEスチール東日本製鉄所(千葉)では、大きな工場であることと暑いという印象が強かったです。私は実習工場の機械でさえも扱いきれないのに、さらに大きな機械を使う技術者に尊敬の念を抱きました。また身の周りには様々な鉄鋼製品があり、現代人は鉄鋼製品なしでは生きていけないと思いました。普段全く気にしない製品の裏側まで見ることができ、大事な人生の糧となりました。

工場見学は、普段目することない貴重な経験なので、行く前から積極的になることを意識しました。具体的には見学先企業の方の許可があれば積極的に参加すること、説明を聞く際にはできるだけ前で聞くようにしました。ただし事前にもう少し調べておけばよかったと後悔が残りました。自由時間は本当に楽しく横浜・東京を満喫でき、良い友達を持ったと思うととても良い先生に巡り会えたと思いました。

### 将来の進路に活かしたい 電気工学科4年 奥村 光志

初日の豊橋技術科学大学では2つの研究室を見学しました。1つは組み込みプログラムの研究で、宇宙線によるメモリエラーの減少方法などの話を聞きました。もう1つは、電気材料系の研究室で、数千円以上もする研究機材やクリーンルームを見学しながら話を聞かせてもらいました。話をしてくれた学生が高専出身で、高専でやっておくべきことや勉強に対するモチベーションの上げ方などとてもためになる話を聞くことができました。

2日目は東邦タニウムでした。身の回りの多くの製品に使われているチタンですが、製造工程やスポンジチタンや液状のチタンなど加工される前のチタンの状態など、多くのことを見聞できました。見学後は、電気関係の仕事をしておられる方から、工場での年間使用電力や電気設備の設計とメンテナンスなどの話を聞かせていただきました。

3日目、午前中の東京電力富津火力発電所では、東京ドーム35個分もの広大な土地や効率59%という最新型を含めた4基の発電機など、規模の大きさに圧倒されました。午後の三菱電機ビルテクノサービスではエレベーターやエスカレーターなどの

構造を实物や模型を見ながら説明していただきました。

今回見学できた企業は、どれも大手企業でとても貴重な経験でした。授業で習った発電機や電動機、シーケンサやリレー回路などが実際に使われているのを見ることができ、いい勉強になりました。また、私は就職希望だったので大学について詳しく調べていませんでしたが、見学を通して大学での研究についても理解を深めることができました。今回、得られたことを今後の勉強や将来の進路に活かしていこうと思いました。

### 今学んでいることの大切さを知る 物質工学科4年 嶋田 力也

私たちは、初日に電気化学工業(株)、2日目に丸善石油化学工業(株)と味の素(株)の工場見学に行きました。どの工場も規模が大きくとっても驚きました。電気化学工業(株)では主にゴムの製造や研究をしている所を見学しましたが、工場内に敷設された線路で必要な材料を運んでいました。丸善石油(株)では石油コンビナートのプラントを見学しました。機械をコンピュータ管理している部屋があり、少人数での操作に責任の重さを感じました。味の素(株)の工場では食品がどのように加工され、私たちの食卓に並ぶかを教わり、実際に試食しました。どの企業も、衛生管理や事故防止などに細心の注意を払っており、機械化され少人数で動かしていることがわかりました。これから先は本当に知識を使える人間が必要だということ、化学以外にもいくつもの分野の知識が必要だということを実感しました。今回最も感じたことは、今勉強していることが決して無駄ではないことでした。ゴムの合成などには有機系の知識が、危機管理や安全面では実験での経験が生かされていました。現場で働くことは危険と隣り合わせで絶対に気が抜けないことも知りました。将来自分が働くことになったら、これらのことを思い出してしっかり働こうと思います。

最終日の長岡技術科学大学では、様々な研究室を見て、先輩から話を聞きました。校舎は高専よりもはるかに広く、研究室では今まで使ったことのない機器ばかりでどれも興味を引かれました。研究内容はなかなか理解できませんでしたが、進学する場合、勉強をしっかりしなければいけないと思いました。

### 驚きと発見の連続 環境材料工学科4年 沢田 慎太郎

私たちは花王(株)、JFEスチール(株)、昭和電工(株)、および(株)Mテックの4社を見学しました。それぞれ違う分野の業種、日本を代表する企業の見学ということで非常に楽しみました。どの会社も長い歴史を持ち、最先端の技術を使っていました。特に印象に残ったJFEスチール(株)と昭和電工(株)の感想をまとめます。

JFEスチール(株)ではあまりの広さに驚きました。人工島全体が工場全体で、この敷地内に原料ヤードから高炉・転炉などがあり、一通り見学するだけでも大変でした。また転炉によって鋼を製鉄しているところを間近で見学した時は、直視できないような強烈な光と熱を感じ、貴重な体験でした。

昭和電工(株)では、非常にクリーンで無駄のないリサイクルに驚きました。排気ガスを一切出さないガス化改質方式を使

## 和海寮って…

学寮会長 商船学科航海コース4年 中野 直人

みなさんは寮というものについてどのようなイメージをお持ちでしょうか。おそらく「キツイ(日々の日課が…)・キタナイ(男ばかりが集まるので…)・キケン(コワそうな先輩がいたりして…)」なんて考えを持っている人も多いかと思います。ところが実際のところはどうでしょう。

寮の中で何か困ったことがあったらすぐに相談できる先輩がいる、宿題や試験勉強で何かわからないことがあったらすぐに聞きに行ける友達がいる、人生相談や恋愛相談ができる友達もいるのです。学校まで歩いて3~4分という立地条件もかなり魅力的。放課後に部活動でへトへトに疲れても、下校する体力を残しておく必要はありません。なぜなら、敷地内にある食堂に行けばすぐに夕飯が食べられ、お風呂にもすぐに入れるからです。

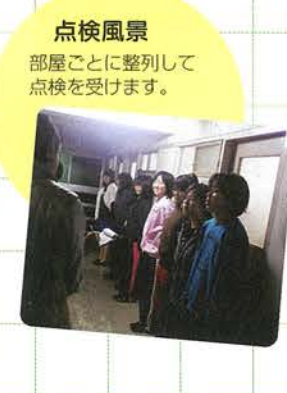
下級生のうちは、社会に出てからも必要となる「挨拶・身だしなみ・苦労を伴う作業に下の者が率先して携わる精神」を養うために少しの制約も確かにありますが、同じ学年の仲間と共に協力してこなしていけばどうってことはありません。5年間の青春時代、この寮で仲間と共に過ごした時間は、何ものにも代え難い宝になります。そして、掃除・洗濯など他の若者達より少しはやく親から自立し、学年を越えた学生達との関わりは、社会に出てからの大きな力になると確信しています。



# 和海寮

女子寮の一日

7:30	朝点検 朝掃除
9:00~16:00	学校
20:00~ 21:00 22:00	自習時間 巡検 夜点検 夜掃除



H22.11.23	北陸地区高等専門学校柔道新人大会	柔道(射水)	男子団体	2位	
			女子個人の部52kg超級	2位	K1 赤濱 七菜
	平成22年度北陸地区高等専門学校サッカー新人大会	サッカー(射水)		優勝	
H22.12.11	北陸地区高等専門学校卓球新人大会	卓球(本郷)	男子団体	第1位	
H23.1.29	アンサンブルコンテスト県大会	吹奏楽(射水)	打楽器5重奏	金賞	
H23.1.29	北信越高等学校囲碁選手権大会	囲碁(本郷)	女子個人戦	優勝	1M 森 菜都未
			C級個人戦	準優勝	1E 松浦 学

H23.1.30	全国高等学校柔道選手権富山県大会	柔道(本郷)	男子個人60kg級	3位	2K 堀田 謙弥
			男子個人60kg級	2位	2C 八十島巨宏
H23.2.1	キャンパスベンチャーグランプリ中部	アントレプレナー研究(射水)			中部経済連合会会長賞 K3 三箇 舞子
H23.2.6	全日本女流アマチュア囲碁選手権大会富山大会		全国大会出場権獲得		1M 森 菜都未
H23.2.8	富山県高校新聞コンクール	新聞(射水)			優秀賞 速報賞 コラム賞
H23.2	ジュニア・マリン賞	海王丸ボランティア同好会(射水)			優秀賞

# 学寮 2010

## 平成22年度の仰岳寮を振り返って

寮務主事補 豊嶋 剛司

仰岳寮では毎月、学生間交流を企画しています。後期の学寮行事としては相撲大会を始め、仮装行列-北斗祭(射水キャンパス)-、すき焼き会、餅つき会、成人祝賀会や第二回球技大会が行われ、この原稿を書いている2月には予餞会が行われる予定です。

国技として親しまれてきた相撲ですが、ここ仰岳寮では相撲協会より行司を招聘し、まわしの付け方から土俵入り、立ち合いや取り組みまでの一連のことを学び、それを通じて日本文化と武の精神について学ぶ機会としています。学生に意見を聞いてみますと、やる前は人前でまわし姿になる事への恥ずかしさや照れでやりたくないという意見が主流ですが、終わった後では先輩後輩関係なく全力で臨めた事に満足し、来年も是非やりたいという意見が大勢を占めておりました。

仮装行列は総曲輪商店街で毎年、学園祭の宣伝行事として行ってきましたが、今年は射水キャンパスで行われる北斗祭の宣伝として企画しました。この企画は仰岳寮の文化だったということもあり、統合後の両キャンパス間の学生交流のあり方について問われる物となりました。学生会長を筆頭に企画立案し、実行へ移すことができ、教員が思っている以上に交流が進んでいると安心をしました。

すき焼き会や餅つき会、そして成人祝賀会は卓を囲んで親睦を深めるための夕食会として、寮生の一番の楽しみとなっています。今年度は学園祭が射水で行われたため、前夜祭の出し物はすき焼き会後に移動しました。学生のセンスが問われる寸劇は学年問わずに競い合える場として、仰岳寮の文化として根付いています。

他にも鈴鹿高専との学寮研修会や、北陸地区高専間の留学生交流会等が挙げられます。高専で培われた絆は一生の絆と申しますが、その中でも寮生の繋がりは特に強いと言えます。仰岳寮出身である事を誇りに思い、互いを生涯の友人と認めあえる、そのような寮であることを目指して今後も邁進していく次第です。



仮装行列



相撲大会

## 平成22年度後半期 クラブ等成績

H22.10.3 ロボットコンテスト東海北陸地区大会 メカトロ(射水)	優勝
H22.10.17 プログラミングコンテスト コンピューター(射水) 課題部門 自由部門	敢闘賞 敢闘賞
H22.10.31 富山県高等学校演劇研究発表大会 演劇(射水)	優秀賞
H22.11.6 富山県高等学校将棋選手権大会 将棋(本郷)	男子個人戦 第3位 女子個人戦 優勝 級位認定戦 第1位
H22.11.7 富山県高等学校新人柔道選手権大会 柔道(本郷)	男子個人60kg級 3位 男子個人60kg級 2位
	2E 中田 直樹 1M 森 菜都未 1M 藤川 枝実 2K 堀田 謙弥 2C 八十島亘宏

H22.11.7 富山県高等学校秋季卓球選手権大会 卓球(本郷) 男子学校対抗	次勝
H22.11.13 富山県高等学校新人大会 ヨット(射水) 女子FJ級	2位
H22.11.21 富山県高等学校秋季囲碁大会 囲碁(本郷) 上級戦 中級戦	3位 優勝 1M 森 菜都未 1E 松浦 学
全国商船高等専門学校漕艇大会 ヨット(射水) シーホッパー級SR	3位
全国高等専門学校体育大会ラグビー競技東海北陸地区大会 ラグビーフットボール(射水)	優勝
	I2 坂田 結衣 K2 大場 彩花 1M 森 菜都未 1E 松浦 学

# 場見学

10月19日~22日

用しているため、リサイクルの未来像であると感じました。工場の見学は、どれも新鮮で驚きと発見の連続でした。授業で得た知識が実際の工場ではどう生かされているか、どのような最先端の技術が使われているかなどに触れることができ、とても勉強になったと同時に社会を知るいい経験にもなりました。また普段の学校生活では得られない経験もたくさんあり、楽しく過ごすことができ、本当にいい思い出をつくることができました。この経験を残りの学校生活や今後の進路につなげていきたいと思えます。

## 射水キャンパス

### 貴重な体験をした工場見学 電子制御工学科4年 大橋 翔太

電子制御工学科は、東京大学生産技術研究所、日産自動車(株)横浜工場、昭和電工(株)川崎事業所、(株)H1 横浜事業所、東芝エレクトロニクス(株)府中工場を見学しました。

初日の東京大学生産技術研究所では、そのすばらしさを身をもって体験しました。材料変形研究室では、材料を直角に曲げるための方法や材料の圧縮などについて学習しました。プレスする際材料に加熱した場合としない場合で、曲がり具合が異なることを目の当たりにしました。量子化の研究室では、太陽光パネルなどナノサイズまで小さくしており、物を縮小化することのメリットや、工程を知りました。流体の研究室では、モデルを作ってする実験とコンピュータ上での実験の2つの方法に加え、より詳しく流れを知るため3Dの映像も利用していることに驚きました。

昭和電工(株)川崎事業所では、プラスチック・ケミカルリサイクル施設を見学しました。家庭や企業から出される使用済みプラスチックをガス化し、アンモニアを製造するために生まれたプラントです。プラスチックを195t/日(64,000t/年)処理できる日本最大級の処理施設であることやガスの生成過程で回収されるスラグ、金属類、塩、硫黄がすべて資源として有効利用されるリサイクル設備であることに驚きました。

日産自動車(株)横浜工場では、床に描かれた色のついたラインに沿って自動で部品を運送するロボットや4.5メートルほどの大きなマニピュレータが機敏に動き、正確に部品を取り付けていました。作業のほとんどが自動制御されたロボットが行い、細かな作業のみが人の手で行われていました。また、作業効率を上げるため、部品を必要な個数だけ容易に取り出せる機械などもあり、高度な機械化の様子を実感しました。

実際に工場を見学することは貴重な体験でした。これを今後就職活動の参考にしたいと思います。

### 企業の実体を調べる必要 情報工学科4年 岩屋 太陽

私たちは東京証券取引所、理化学研究所、日本科学未来館、富士通、東芝科学館を見学しました。

初日の東京証券取引所では上場企業の株価の変動が秒単位でわかる電子掲示板があり、不正取引を監視している人々がいまいました。実際に株のシミュレーションを体験したり、株に関するクイズを解く

ゲームをしたり、株を楽しく学ぶことができました。

2日目の理化学研究所では、開発途中の日本一のスーパーコンピュータについて説明を受け、現在使用しているスーパーコンピュータを見学しました。最後に、3Dで現在取り組んでいる研究の説明を受けました。それは、実体をデータにしてパソコンに取り込み3Dで表示する研究です。ただ表示するだけではなく、皮を剥いた状態や種だけのりんごを表示したり、動物の骨だけを表示したりでき、質の高さに感動しました。

3日目、富士通では、医療やセキュリティーなど様々な分野の技術開発を行っている企業であることを知りました。最後の東芝科学館では最新の映像技術や超伝導の話を知りました。

工場見学を通して、今後の就職活動にあたって自分に合った就職先を見つける参考になったと思います。上辺だけではなく、企業の実態を詳しく調べた上で、自分が本当にやりたいことがその企業にあるのかを知ることが大事だということを実感しました。



### 視野を広げた工場見学 国際流通学科4年 江部 なな恵

10月に行われた関東流通見学では、3日間にわたり様々な企業・団体を見学しました。

中でも特に興味を持ったのが花王すみだ事業場です。ここでは、ただ製品を研究・開発・生産するだけでなく、生活者コミュニケーションセンターという部門が設けられ、消費者からの様々な問い合わせに「正確、迅速、親切な対応」ができる体制がとられていました。商品の写真や含まれる成分はもちろん、テレビCMについての情報も一目で分かるようにデータが準備されています。過去にはCM出演している女優や、使われている曲、女優が着ている衣装に関する質問まで寄せられたそうです。本来管轄ではない質問にも迅速に答えられるようになっており、常に消費者の目線に立っている企業であると感じました。

2日目のウエスティンホテル東京では、1泊何十万円もする部屋や結婚式場などを見学しましたが、初めて見る一流ホテルの設備にただただ圧倒されるばかりでした。従業員の方々の細かい心配りはさすが一流ホテルと感じました。国際流通学科の卒業生の方に話を伺いましたが、自分の目標や信念を持って仕事に取り組んでおられ、見習う点がたくさんありました。1か月ごとに様々な国の料理を出しているレストランでの食事が美味しく感動しました。ウエスティンホテル東京ではとにかく驚きの連続で、滞在中ずっと興奮していたような気がします。

今回、様々な企業・団体の工場見学を通して、就職に対する考え方が変わりました。これまでは自分が興味のある分野にしか目を向けていませんでしたが、今回の経験で視野が広がったように思います。今後の就職活動への良いヒントを得られた貴重な体験でした。

# 2・3年生 校外活動

## 県内工場見学 本郷3年生 10月13日

機械工学科3年 越野 佑太

私たちはスギノマシンと黒部にあるYKKセンターパークに行きました。

スギノマシンはウォータージェット技術で有名な会社です。この技術は水を超高压で圧縮しその水を用いて金属を切断したり、研磨したり、工作機械の洗浄を行ったりと非常に用途が広く、また基本が水なのでエコにも対応した優れた技術だと感じました。ウォータージェットの切れ味がどれほどのものかを体験させていただけるところで、クラスメイトが切断したダンボールが簡単に切れてしまい、その切れ味がとても驚きました。工場内には、実習工場で見たことがあるような工作機械から、見たこともない新しいような工作機械、出来上がったであろう製品など様々なものがあり、とても面白く新鮮でした。

YKKはファスナーやサッシを作っている大きな会社という程度の認識しかありませんでした。展示館を見学すると一言でファスナーといっても種類が多く、私たちの服に付いているものや水が漏れないもの、さらには宇宙服にも使われる空気が漏れないファスナーまでありました。工場説明のときは広い敷地に同じ様な機械が何台も並んでいる場所があり、それらの機械は大抵は自動で動いていました。大量生産する工場の雰囲気を感じることができました。

スギノマシンでは普段どおりに従業員の方が仕事をされていて、作業中の表情は真剣で、これが企業の職場の雰囲気かと思いました。常に責任が付きまとう職場では軽い気持ちでやれるわけがないと改めて知ることができました。また自動化が進む現代で多くの機械を一人で操作することになるかもしれないので、正しい機械の扱い方を身につける必要性も感じた工場見学でした。

物質工学科3年 山崎 由貴

物質工学科が最初に見学したのは、アステラス富山(株)の工場でした。アステラスという名の工場があること以前から知っていましたが、何を製造しているのかまでは知りませんでした。工場内に入る時、作業している社員と同じ格好をしました。その徹底ぶりに工場見学ならではの驚きがありました。アステラスでは、主に免疫抑制剤やアトピー性皮膚炎治療剤を製造しています。免疫抑制剤は、臓器移植の時、他人の臓器を体内に入れるために起きる拒絶反応を抑制するために不可欠と聞き、この薬のおかげで助かった人々が世界中に沢山いると思うと私もこういう仕事をしたいと思いました。また、GMP3原則①人為的な誤りを最小にすること、②医薬品の汚染及び品質低下を防止すること、③高い品質保証するシステムを設計すること④が整備されており、まだ今年に入ってリコールが一回もないというのを聞き、会社全体で高い信念をもってやっていると感じました。

午後は、日東メディック(株)に行きました。日当メディックには富山高専からの就職が多く、説明していただいた方の中にも卒業生がおられ、とても親近感を持ちました。この工場では目薬を製造しており、実際見たことがある薬を作っていて驚きました。目薬でも目の治療をするもの約50%、一般の目薬約25%、配置薬約25%という割合で、いろいろな種類の目薬があるのに驚きました。製造課程では、毎月機械の洗浄は確実にできているか等の検査をしており、ここでも規格外品を作らないためにとっても気を配っていて、良い製品を作るには徹底してやらなくてはならないのだと改めて実感しました。

2つの会社を見学し、両社とも高い信念を掲げていました。私も高専で過ごす残りの2年間を無駄にせず、「とってもら」ではなく、「会社がこの人ならほしい」と思ってもらえるような人間にならなくてはいけないという目標ができました。

## 合宿研修 本郷2年生 10月14日~15日

合宿研修を終えて  
機械工学科2年 村井 文仁

今回の合宿研修はとても楽しく、非常に有意義なものになりました。中でも私が企画する側として全身全霊を注いだ初日夜のレクリエーションは最高でした。

火を見ると誰でもテンションが上がるといふ火の持つ摩訶不思議なエネルギーを利用する為、キャンプファイヤーにしました。まずは定番、みんなで歌を歌う時間。最終的には数名のカラオケっぽくなっていましたが…。M科の男子によるMIX(某秋葉系アイドルユニットの曲の前奏にて、ファイヤー・タイガー・サイバー等、特に意味はないが響きがかっこいいものを大勢でリズムカルに叫ぶ行為。一種の愛情表現。)によって会場に冷たい空気が流れたことも、今となってはいい思い出です。クラス対抗ミニゲームでは、選手の頑張りにより自然と応援の声がわき上がりました。中でも「かき氷早食い対決」は個人



的にツボでした。競技中、黄色い声援を浴びるC科とK科の男子に殺気に近い感情を覚えたのはここだけの話。他にも津森先生の妖精の件など、小ネタもたくさん挟んだ楽しいレクリエーションを作り出すことができたと思います。

合宿研修までの道のりは遠く長いものでした。約4ヶ月前から行った会議。暑い中、学校に来ては作業を続けた夏休み。全ては合宿研修の夜にみんなに笑顔になってもらう為でした。しかし、私たち実行委員の努力は無駄ではなかったと思います。あの夜、みんなのキラキラ輝く笑顔を見ることができたから…。それだけで私は幸せでした。そして同時に、これまで一緒に頑張ってきた実行委員の仲間達への感謝の気持ちが溢れました。この達成感のような喜びを味わうことができたのは、計画性も頼りがいも皆無の私を支えてくれた優秀な仲間達のおかげです。

実行委員のみんな、最後まで投げ出さずについてきてくれてありがとう。心から感謝しています。このような思い出を味わってくれた今回の合宿研修は、私の一生の思い出です。



## スキー合宿 射水3年生 1月17日~18日

スキー合宿に参加して  
電子制御工学科3年 林 拓 未

冬休みが開けて間もなくスキー合宿がありました。初日は午後から習熟度別に分かれ、インストラクターの指導を受けました。私はスノーボード初心者クラスでした。初めに歩き方とリフトの乗り方を教えてもらい、その後、終了時まで滑り方の基礎をじっくり教えていただきました。指導のおかげでメンバーがどんどん滑れるようになっていくのがよくわかりました。たくさんアドバイスの中で一番印象に残っているのは、滑るときは体の重心の位置を意識するとよいということです。私はフロント側でターンするとき重心がずれてうまくできませんでしたが、そのアドバイスを意識しながらターンするとうまくいったので、改めて教わることの大切さを実感しました。宿泊施設では、夕食後に一部の学生が宿泊していた中国人の方々と一緒に運動をし、楽しい時間を過ごしました。国際流通学科の学生は中国の方とすらすら会話をしている学科の特色と三年間の成果を感じました。二日目は自由滑走で、友人たちと一生懸命練習しました。結果、傾斜がゆるやかなら失敗することなく滑ることができるようになりました。最後に上達した記念に頂上から滑ってきました。たくさん転びながらも友人たちと富山を一望しながら滑ることができていい思い出になりました。

スキー合宿に参加することで教わることの大切さを改めて実感し、また学科を越えて学生時代のよい思い出を作ることができました。



スキー合宿に参加して  
商船学科3年 森山 凱 & 四柳 和也

私達3年生は、1泊2日で「極楽坂スキー場」にスキー合宿に行きました。

スキー合宿の1日目は、スキー、スノーボード、ファンスキーの3つの中から自分のやりたいものを選んで、班のレベルを合わせるため初心者、初級、中級、上級の中から自分に合った級を選んで、それぞれの班に分かれました。各班にインストラクターがつき、指導を受けながら滑りました。あまり自由には滑れなかったけど、インストラクターの指導がとてもわかりやすく前よりも上手く滑れるようになりました。2日目は自分たちで班を作って自由に滑りました。中々友達とスキーに来ることができないのでとても楽しい時間でした。

私たちは担任の八賀先生の勧めでスキー合宿の実行委員になりました。実行委員は各学科から2名ずつ選ばれました。実行委員の仕事はスキー合宿で開式の時の司会や準備、初日夜の計画です。夜は各学科の実行委員が自分の学科で撮った写真をクラス紹介のスライドショーで表示して全員で見ました。みんなとても楽しんでくれていたのでよかったと思いました。もう3年生になり、4年生になれば進路変更して別れてしまう人もいるので、このスキー合宿がみんなの良い思い出になったと思います。

## 遠足 射水1年生：小布施 射水2年生：飛騨高山 10月22日

歩いて食べて笑った飛騨高山遠足  
国際流通学科2年 広島 瑠衣

私は飛騨の小京都と呼ばれる高山の風情ある美しい街並み、歴史的建造物、美味しいグルメで心も体も癒されてきました。

高山に到着した私たちは、まず全員で高山陣屋に向かいました。高山陣屋は飛騨地方の政治を執っていた役所で昔のままの姿で再現されています。中に入ると、まるで江戸時代にタイムスリップしたような感覚になりました。

見学後は、待ちに待った自由行動です。高山は平日にもかかわらず、多くの観光客で賑わっていました。班のメンバーとともに早速クーパー先生に教わった美味しい飛騨牛串焼きとソフトクリームのお店を探して行きました。途中でいろいろなお店に立ち寄り、牛串だけでなくたくさんさんの高山グルメに出会いました。その中で心に残ったものが二つあります。一つ目は「飛騨牛まん」。ふっくらとした生地の中にすき焼き風に味付けされた飛騨牛たっぴりのあんが入っていて、一口食べると幸せな気持ちになりました。二つ目は「牛玉焼」。たこ焼き風に丸く

焼かれた生地の中に飛騨牛が入っていて、外はカリッ、中はとろーとした生地と、脂がのって、とろける飛騨牛との相性は抜群でした。

歩いていてふと気が付いたことがあります。それは通りにゴミ箱がないことです。高山では古い街並みの景観を損なわないよう、ゴミ箱を設置せず各自で持ち帰るようにしています。この取り組みはとても良いことだと思います。高山の古い街並みがこの先も残っていくように私もゴミを持ち帰りました。

高山遠足で古い街並みに心洗われ、美味しいグルメに舌鼓、友達と喋りながら一層仲を深めることができ、楽しい思い出ができました。これぞ遠足！でした。



小布施の1年生